

緑の基本計画策定のためのアンケート調査

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査項目の概要	1
(3) 調査対象	1
(4) 調査方法	1
(5) 配布回答結果	1
(6) 集計方法	2
2. 調査結果	2
(1) 単純集計	2
(2) クロス集計	20

巻末資料 アンケート調査票

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「富田林市緑の基本計画」の改定に向けて、市民の意向を参考に検討を進めるため、全世代と若者・子育て世代（18～39歳）を対象に実施したものです。

(2) 調査項目の概要（設問 22 及び自由意見）

- ①緑の現状について（問 1～2）
- ②緑の今後について（問 3～4）
- ③公園について（問 5～10）
- ④住宅地の農地について（問 11）
- ⑤生物多様性について（問 12～14）
- ⑥緑のまちづくりへの参加と取組について（問 15～19）
- ⑦回答者の属性について（問 20～22）
- ⑧自由意見

(3) 調査対象

1) 全世代調査

対 象 者	18歳以上の市民（平成30年5月31日現在の住民基本台帳登録者）
	2,000人（無作為抽出）

2) 若者・子育て世代調査

対 象 者	18歳～39歳の市民（平成30年5月31日現在の住民基本台帳登録者）
	1,000人（無作為抽出）

(4) 調査方法

1) 調査期間

平成30年7月5日発送～平成30年7月20日締切

注）締切り後も返送があったため、平成30年8月6日までの回答を集計

2) 配布回答

郵送による配布および回収

(5) 配布回収結果

	配布数	回答数	回答率
全世代調査	2,000	695	34.8%
若者・子育て世代調査	1,000	227	22.7%

(6) 集計方法

調査結果は、市民全体の意向を示す全世代調査と、若者や子育て世代の意向を示す若者・子育て世代調査とに区分して集計を行いました。

なお、若者・子育て世代の集計にあたっては、若者・子育て世代調査と全世代調査の10代～30代の合計回答数を合算して集計を行いました。

■若者・子育て世代調査の集計について

区 分	集計対象数	備 考
全世代調査	113	全世代調査のうち10～30代の回答者数
若者・子育て世代調査	227	
計	340	

2. 調査結果

グラフの見方

- ・MAは複数回答、SAは単数回答を示しています。
- ・回答率(%)は、無回答を除く回答者数を基数として算出しています。
- ・単数回答(SA)の質問では、端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。
- ・複数回答(MA)の質問では、回答者数が基数のため集計結果の合計が100%を超えます。

(1) 単純集計

1) 富田林市の緑の現状について

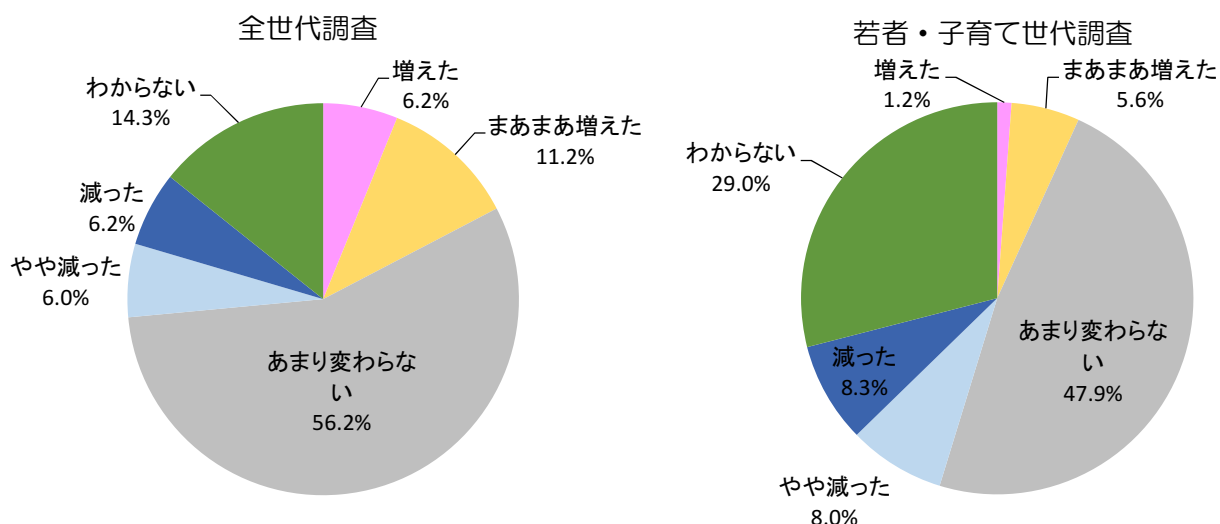
最近(ここ10年程度)の緑の増減について(問1 SA)

○全世代調査

- ・「増えた」「まあまあ増えた」が17.4%で、「減った」「やや減った」が12.2%となっています。「あまり変わらない」は56.2%で半数以上を占めています。

○若者・子育て世代調査

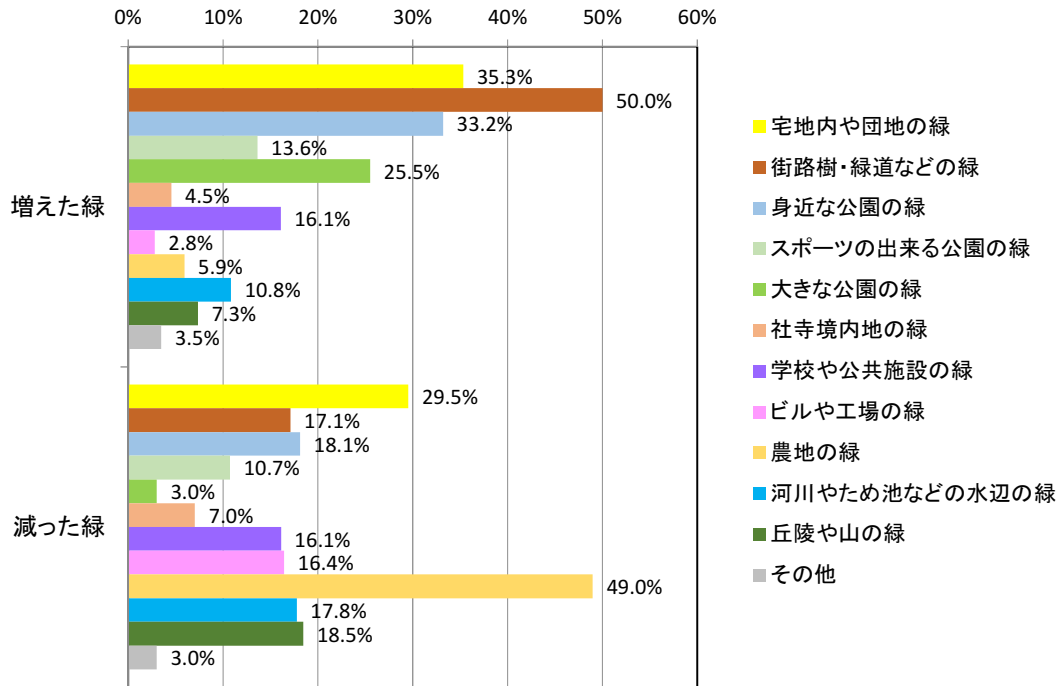
- ・「増えた」「まあまあ増えた」が6.8%で、「減った」「やや減った」が16.3%となっています。「あまり変わらない」は47.9%で半数近くを占めています。



増えたと思う緑、減ったと思う緑（問2 MA）

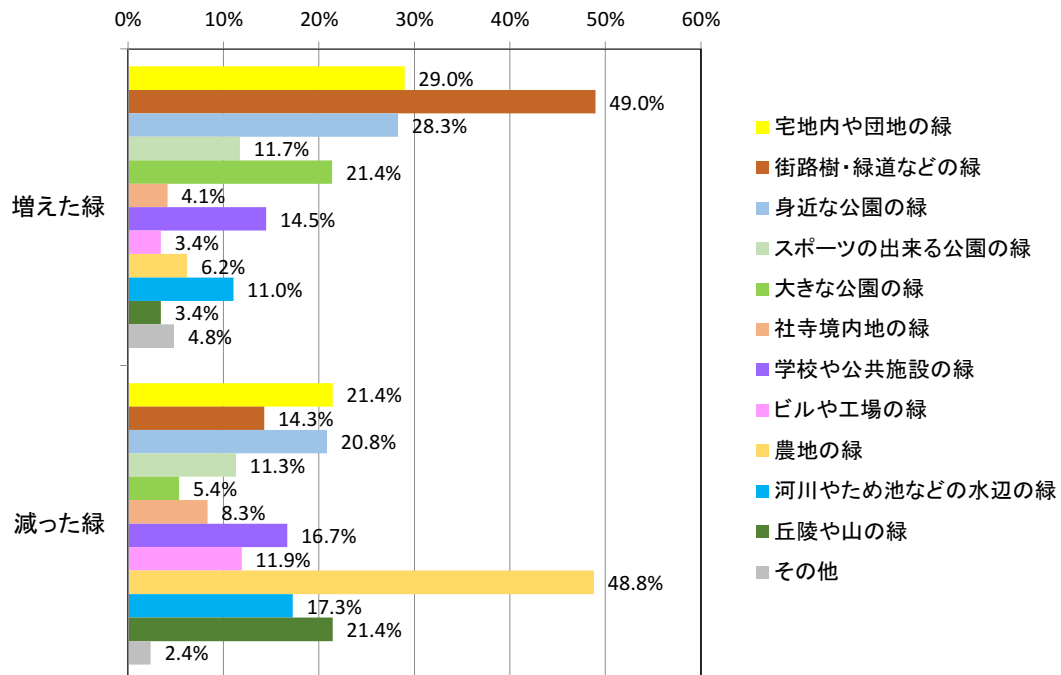
○全世代調査

- 増えた緑で最も多いのは「街路樹・緑道などの緑」で、次いで「宅地内や団地の緑」となっています。
- 減った緑で最も多いのは「農地の緑」で、次いで「宅地内や団地の緑」となっています。



○若者・子育て世代調査

- 増えた緑で最も多いのは「街路樹・緑道などの緑」で、次いで「宅地内や団地の緑」となっています。
- 減った緑で最も多いのは「農地の緑」で、次いで「宅地内や団地の緑」「丘陵や山の緑」となっています。

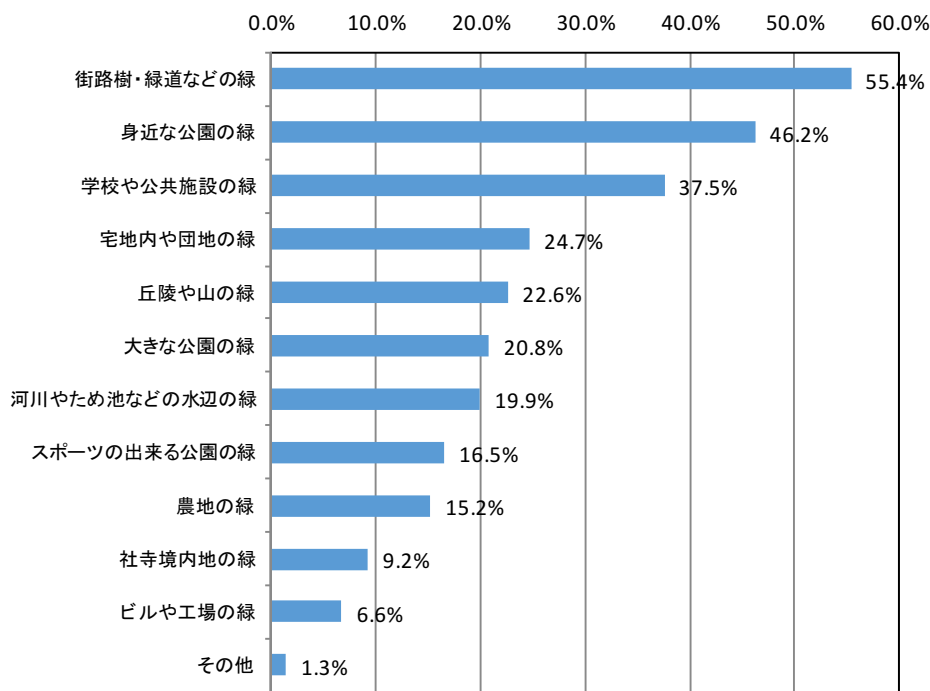


2) 富田林市の緑の今後について

今後、守り育てていくべきと思う緑（問3 MA）

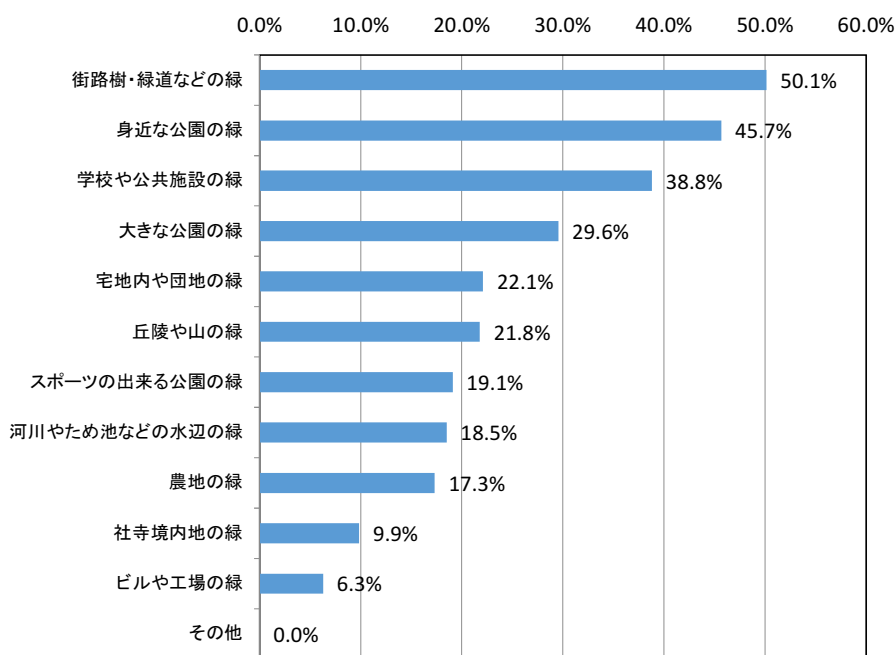
○全世代調査

- 「街路樹・緑道などの緑」の回答が55.4%と最も多く、次いで「身近な公園の緑」が46.2%、「学校や公共施設の緑」が37.5%となっています。



○若者・子育て世代調査

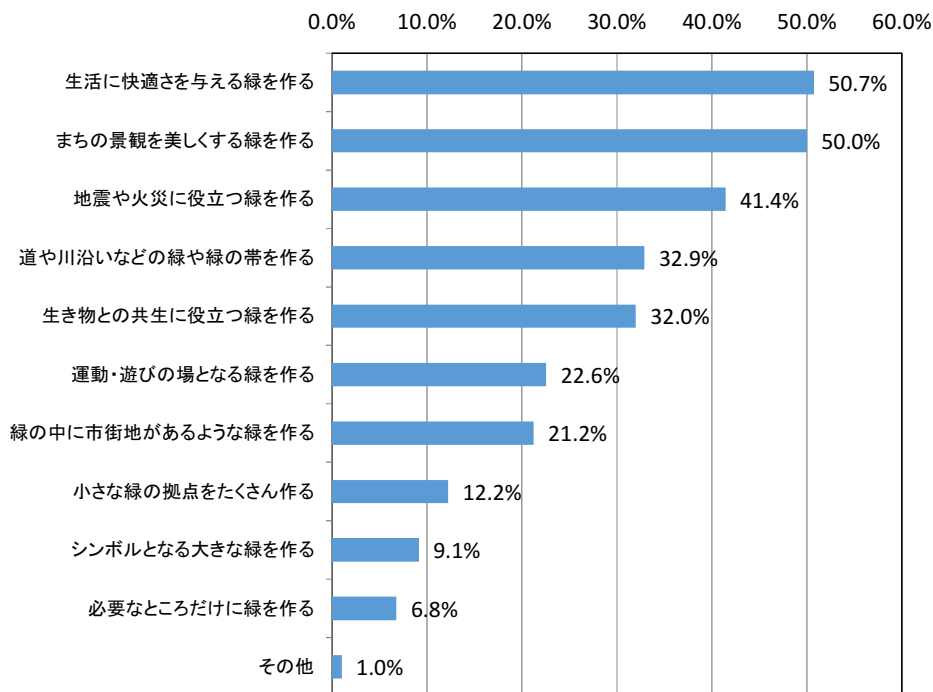
- 「街路樹・緑道などの緑」の回答が50.1%と最も多く、次いで「身近な公園の緑」が45.7%、「学校や公共施設の緑」が38.8%となっています。



今後の緑づくりの目標としてふさわしいこと（問4 MA）

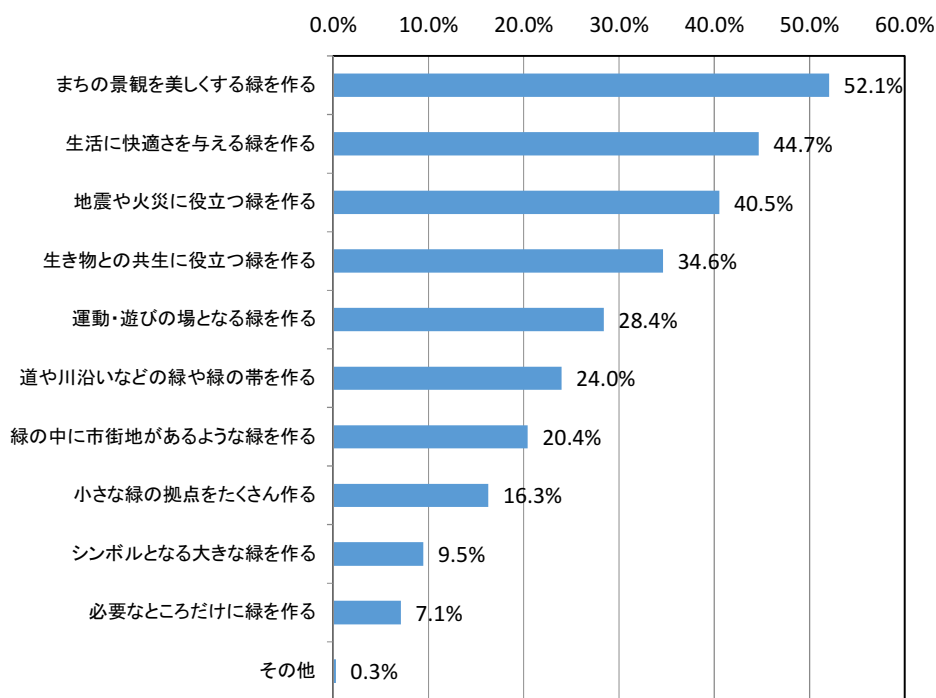
○全世代調査

- 「生活に快適さを与える緑を作る」の回答が50.7%と最も多く、次いで「まちの景観を美しくする緑を作る」が50.0%、「地震や火災に役立つ緑を作る」が41.4%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「まちの景観を美しくする緑を作る」の回答が52.1%と最も多く、次いで「生活に快適さを与える緑を作る」が44.7%、「地震や火災に役立つ緑を作る」が40.5%となっています。



3) 富田林市の公園について

市内の公園はよく利用するか（問5 SA）

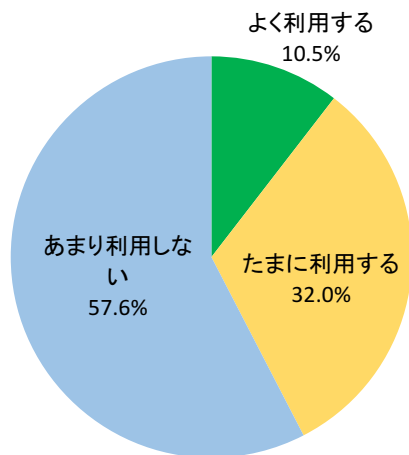
○全世代調査

- ・「よく利用する」「たまに利用する」は 42.5%、「あまり利用しない」が 57.6%となっています。

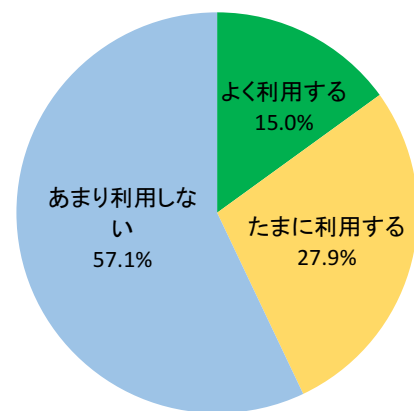
○若者・子育て世代調査

- ・「よく利用する」「たまに利用する」は 42.9%、「あまり利用しない」が 57.1%となっています。

全世代調査



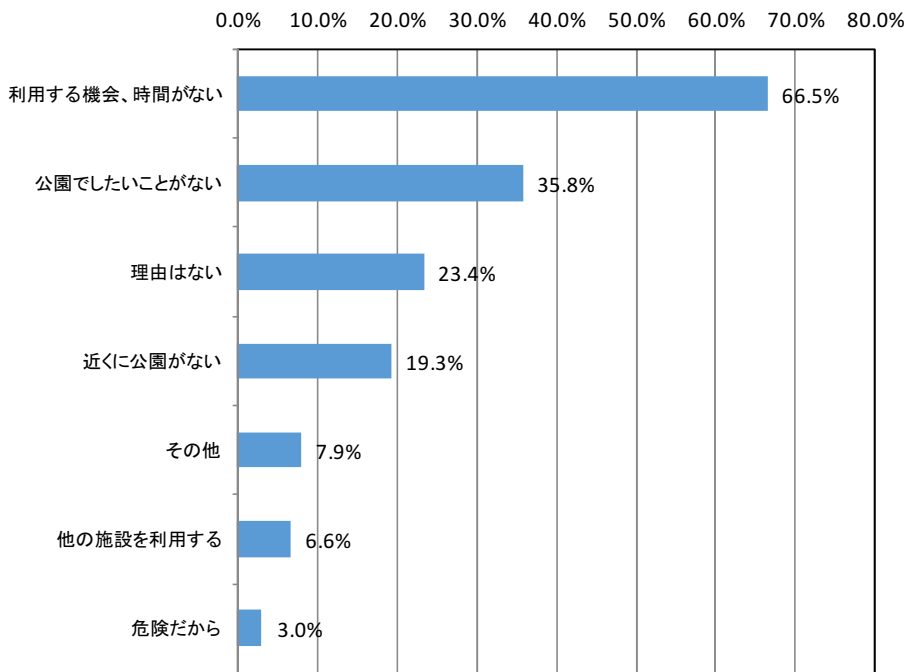
若者・子育て世代調査



利用しない理由（問6 MA）

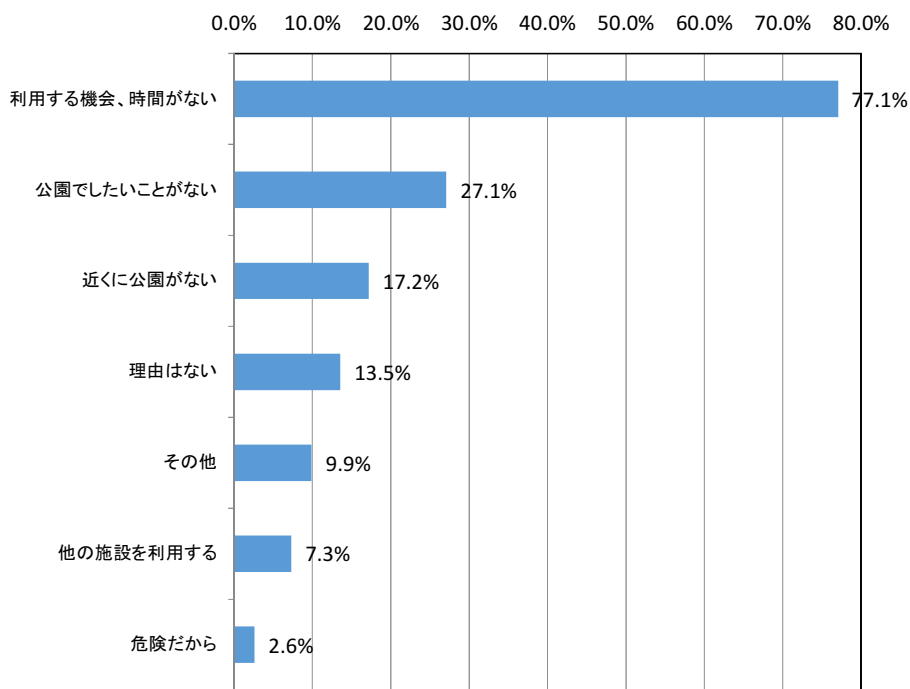
○全世代調査

- 「利用する機会、時間がない」の回答が66.5%と最も多く、次いで「公園でしたいことがない」が35.8%、「理由はない」が23.4%となっています。



○若者・子育て世代調査

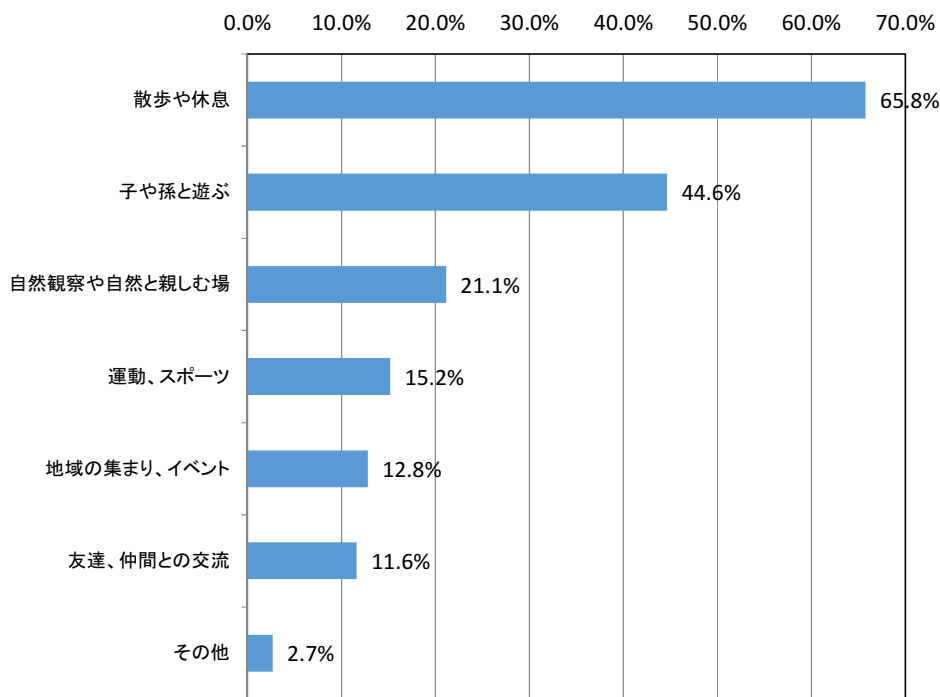
- 「利用する機会、時間がない」の回答が77.1%と最も多く、次いで「公園でしたいことがない」が27.1%、「近くに公園がない」が17.2%となっています。



どんなときに利用するか（問7 MA）

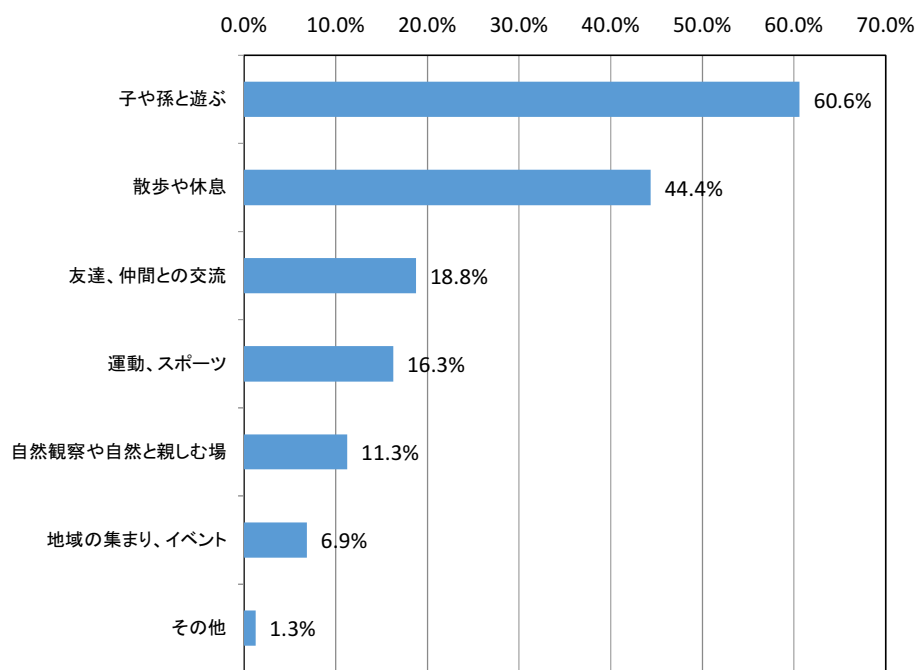
○全世代調査

- 「散歩や休息」の回答が65.8%と最も多く、次いで「子や孫と遊ぶ」が44.6%、「自然観察や自然と親しむ場」が21.1%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「子や孫と遊ぶ」の回答が60.6%と最も多く、次いで「散歩や休息」が44.4%「友達、仲間との交流」が18.8%となっています。



市内の公園の数について（問 8 SA）

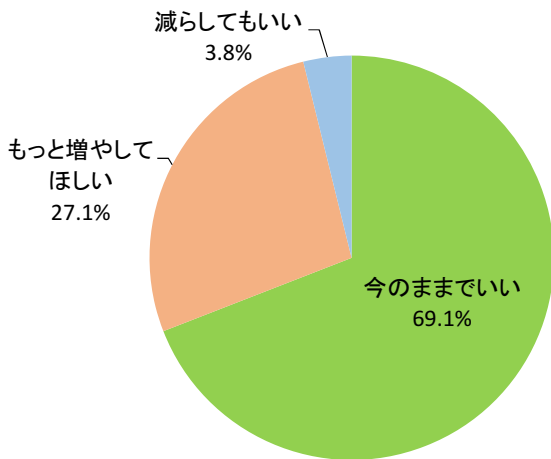
○全世代調査

- 「今のままでいい」の回答が 69.1%と最も多く、「もっと増やしてほしい」は 27.1%となっています。

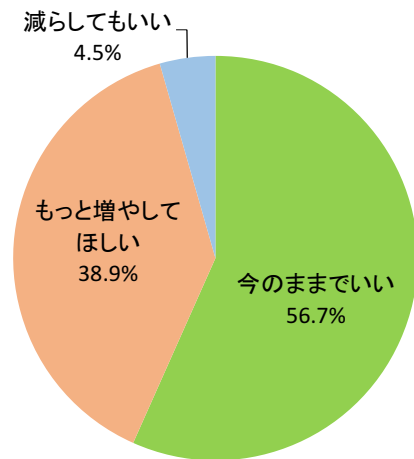
○若者・子育て世代調査

- 「今のままでいい」の回答が 56.7%と最も多く、「もっと増やしてほしい」は 38.9%となっています。

全世代調査



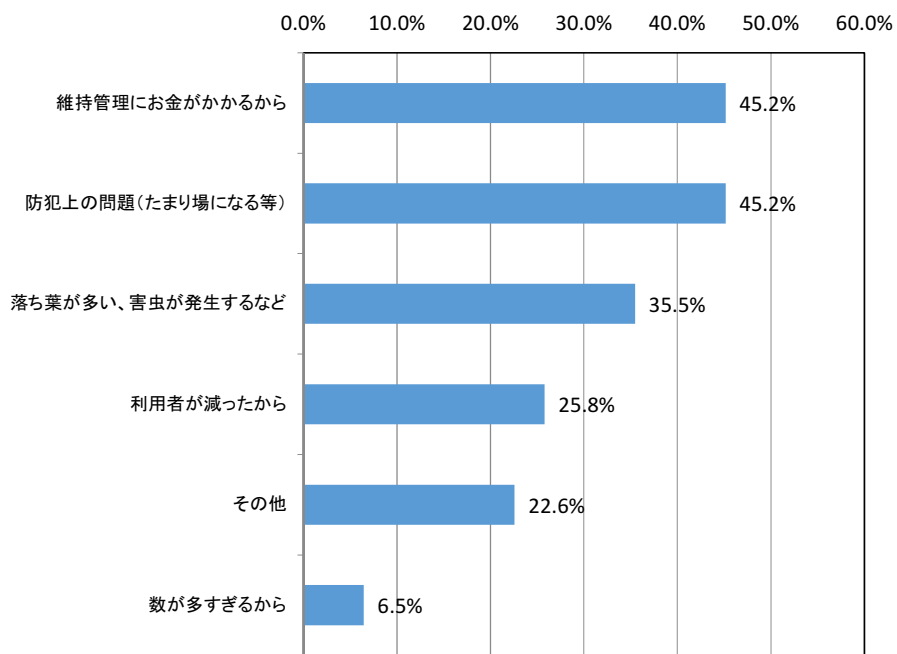
若者・子育て世代調査



減らしてもいいと思う理由（問9 MA）

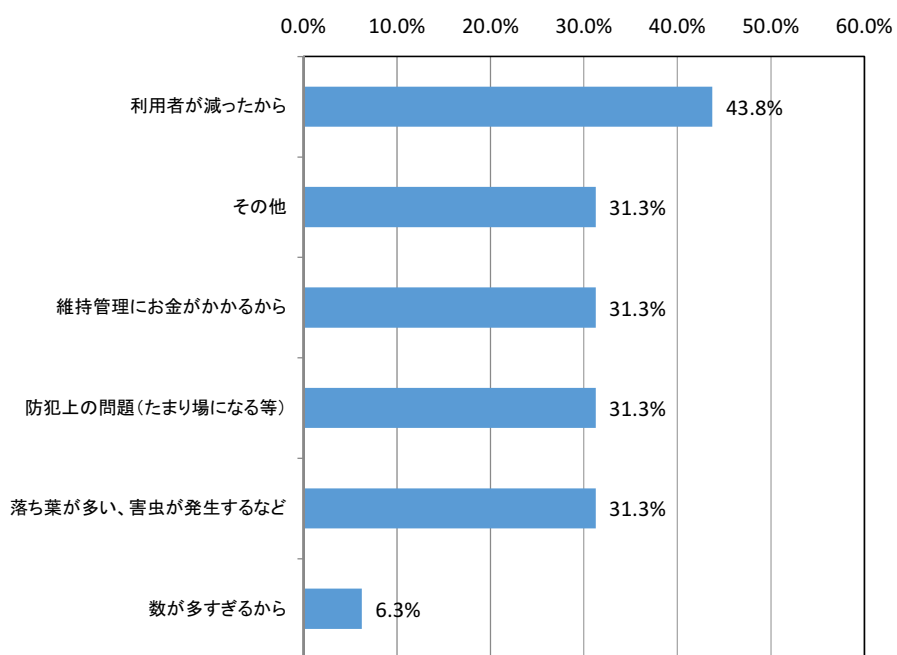
○全世代調査

- 「維持管理にお金がかかるから」「防犯上の問題（たまり場になる等）」の回答が45.2%と最も多く、次いで「落ち葉が多い、害虫が発生するなど」が35.5%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「利用者が減ったから」の回答が43.8%と最も多くなっています。



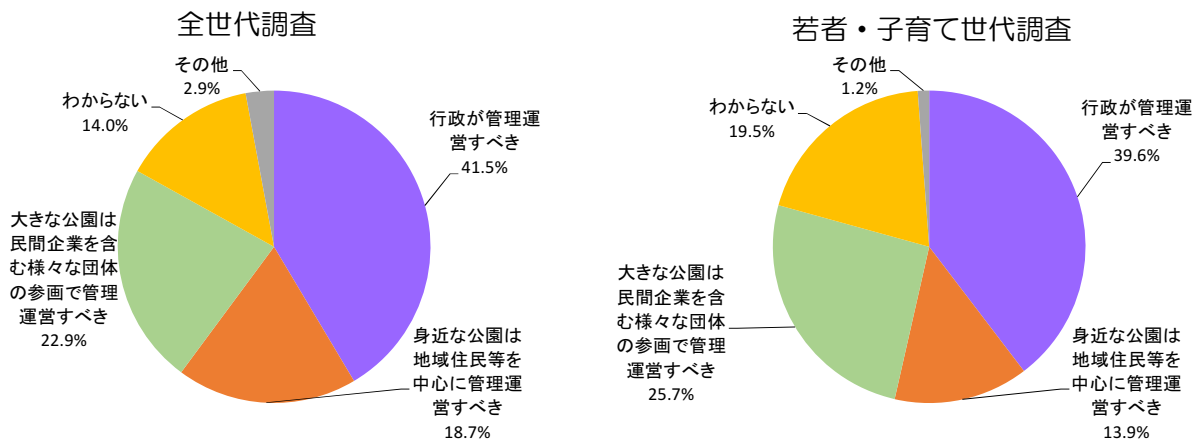
公園の維持管理や運営をどのようにしていけばいいと思うか（問 10 SA）

○全世代調査

- 「行政が管理運営すべき」の回答が 41.5%と最も多くなっていますが、「身近な公園は地域住民等を中心に管理運営すべき」「大きな公園は民間企業を含む様々な団体の参画で管理運営すべき」をあわせると 41.6%で、民間の活用を支持する意見もほぼ同数となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「行政が管理運営すべき」の回答が 39.6%と最も多くなっていますが、「身近な公園は地域住民等を中心に管理運営すべき」「大きな公園は民間企業を含む様々な団体の参画で管理運営すべき」をあわせると 39.6%で、民間の活用を支持する意見も同数となっています。



4) 富田林市の住宅地の農地について

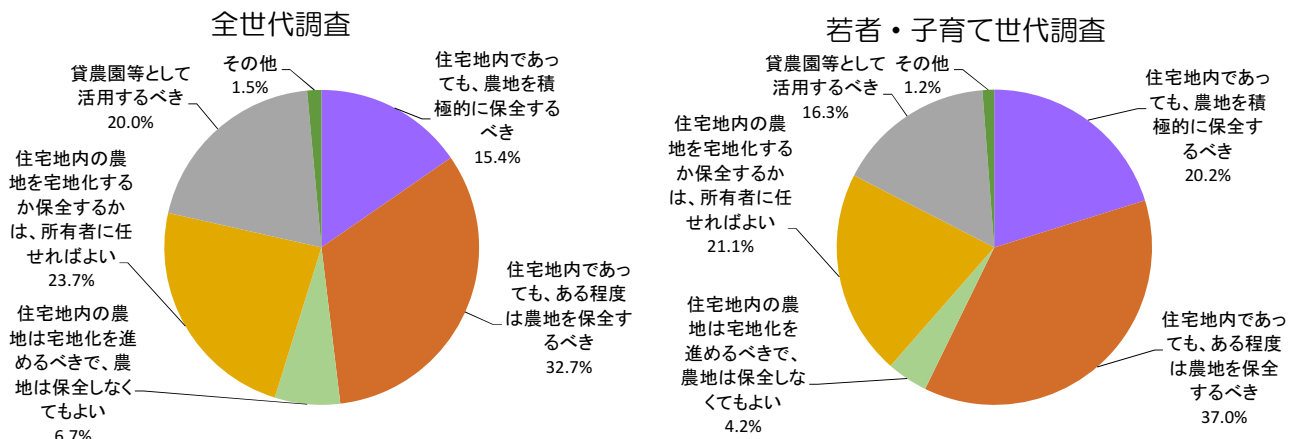
住宅地の農地の保全と開発について、どのように考えるか（問 11 SA）

○全世代調査

- 「住宅地内であっても、農地を積極的に保全すべき」が 15.4%、「住宅地内であっても、ある程度は農地を保全すべき」が 32.7%で、あわせて 48.1%が農地の保全を求めています。「住宅地内の農地は宅地化を進めるべきで、農地は保全しなくていい」は 6.7%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「住宅地内であっても、農地を積極的に保全すべき」が 20.2%、「住宅地内であっても、ある程度は農地を保全すべき」が 37.0%で、あわせて 57.2%が農地の保全を求めています。「住宅地内の農地は宅地化を進めるべきで、農地は保全しなくていい」は 4.2%となっています。



5) 生物多様性について

生物多様性の言葉とその意味を知っているか（問 12 SA）

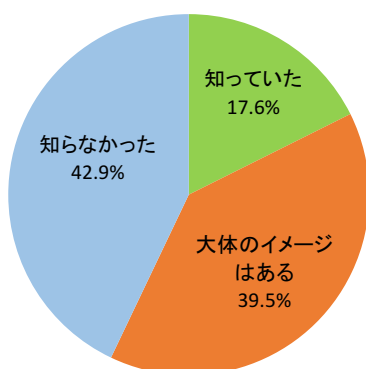
○全世代調査

- 「知っていた」「大体のイメージはある」をあわせると 57.1%、「知らなかった」が 42.9%となっています。

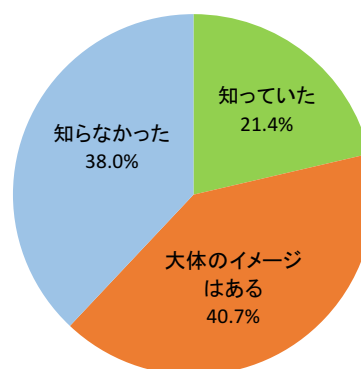
○若者・子育て世代調査

- 「知っていた」「大体のイメージはある」をあわせると 62.1%、「知らなかった」が 38.0%となっています。

全世代調査



若者・子育て世代調査



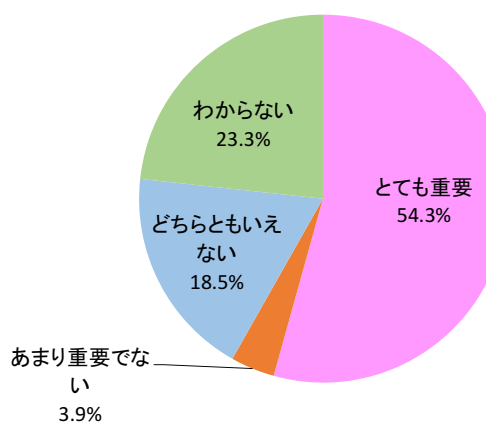
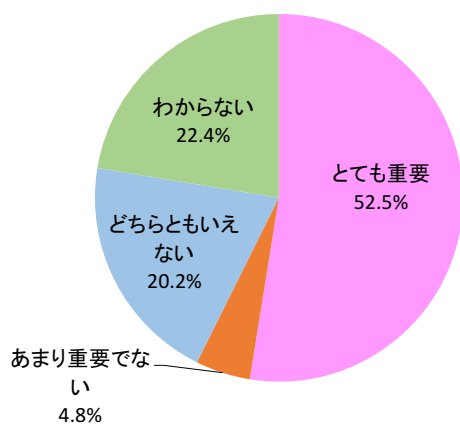
生物多様性は、緑のまちづくりにとって重要だと思うか（問 13 SA）

○全世代調査

- 「とても重要」が 52.5%、「あまり重要ではない」が 4.8%、「どちらともいえない」が 20.2%となっています。

○若者・子育て世代調査

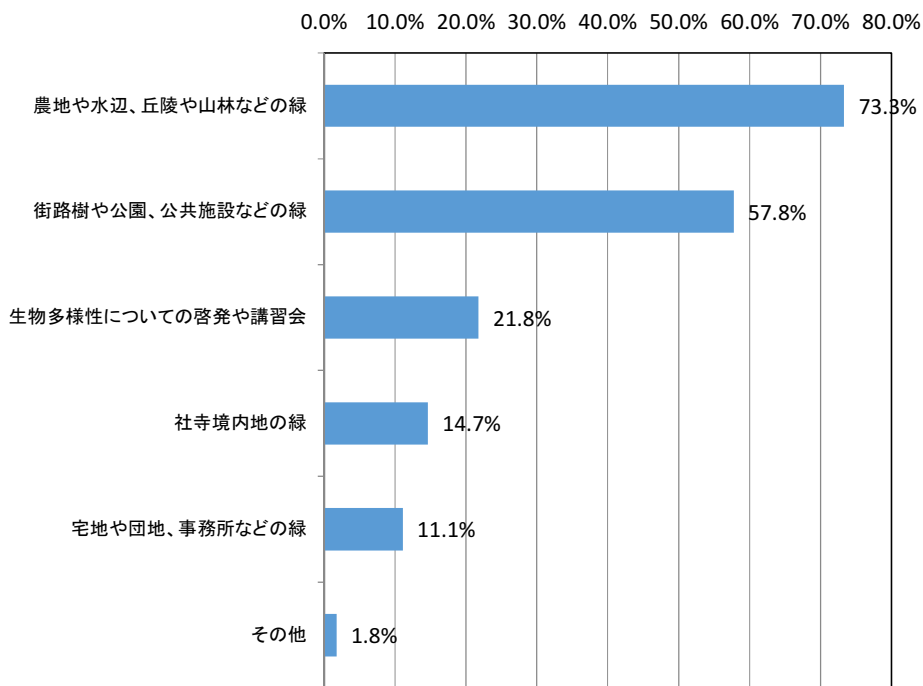
- 「とても重要」が 54.3%、「あまり重要ではない」が 3.9%、「どちらともいえない」が 18.5%となっています。



富田林市の生物多様性を守るために何が重要か（問 14 MA）

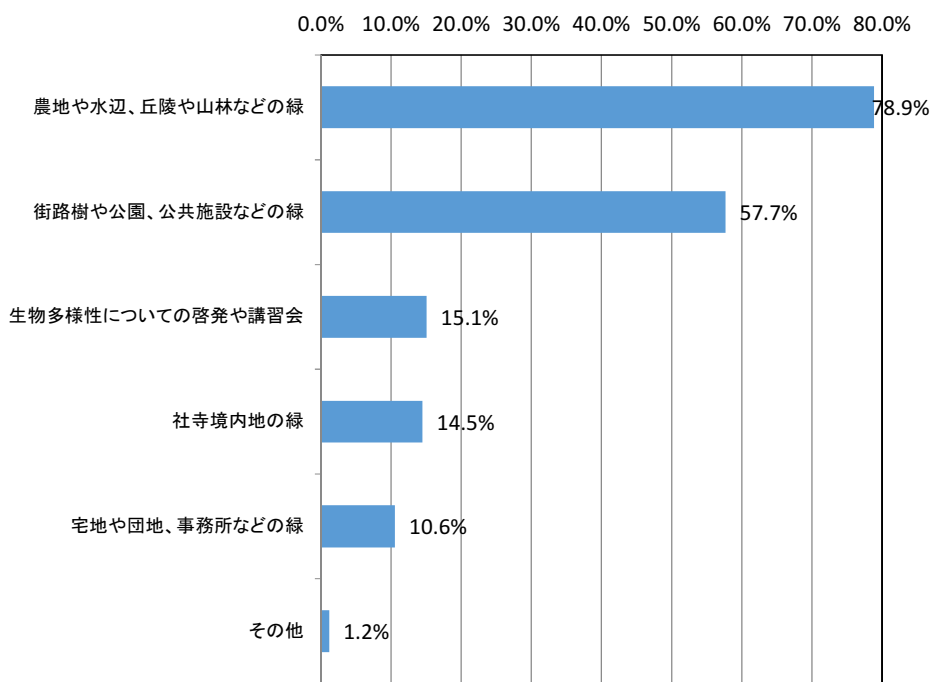
○全世代調査

- 「農地や水辺、丘陵や山林などの緑」の回答が73.3%と最も多く、次いで「街路樹や公園、公共施設などの緑」が57.8%、「生物多様性についての啓発や講習会」が21.8%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「農地や水辺、丘陵や山林などの緑」の回答が78.9%と最も多く、次いで「街路樹や公園、公共施設などの緑」が57.7%、「生物多様性についての啓発や講習会」が15.1%となっています。



6) 緑のまちづくりへの参加と取組について

緑化活動や自然環境保全活動に参加したことがあるか（問 15 SA）

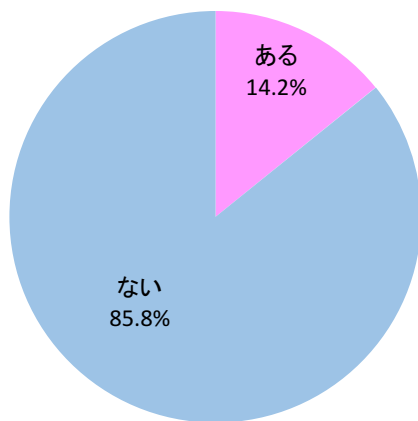
○全世代調査

- ・ 「ある」が 14.2%、「ない」が 85.8%となっており、市民の大多数は参加経験がない状況です。

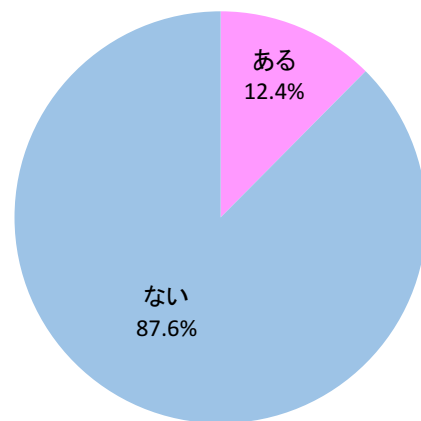
○若者・子育て世代調査

- ・ 「ある」が 12.4%、「ない」が 87.6%となっており、若者・子育て世代の大多数も参加経験がない状況です。

全世代調査



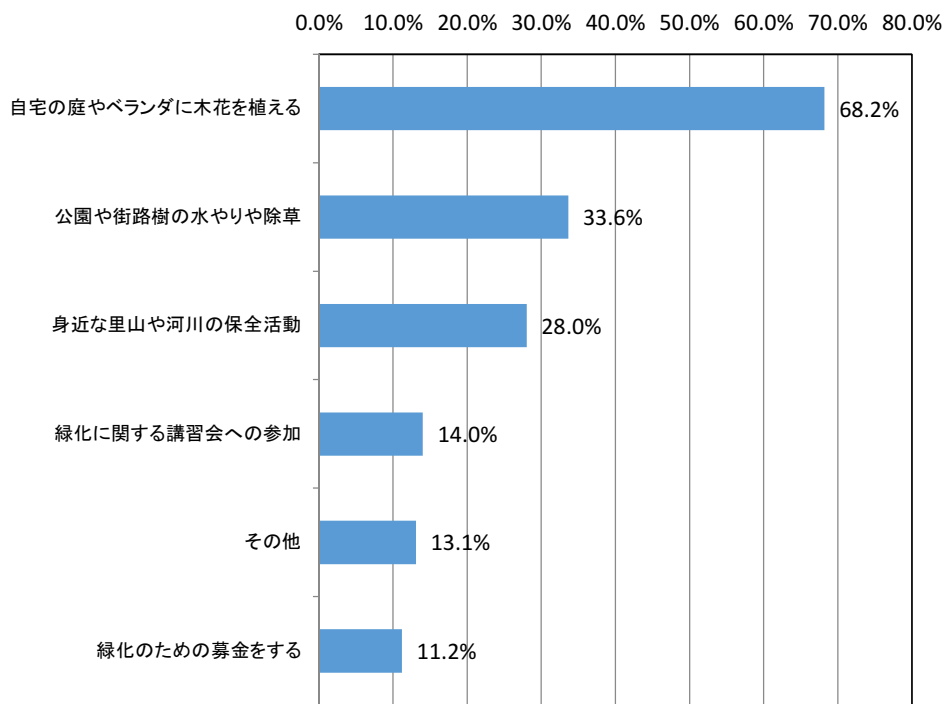
若者・子育て世代調査



どのような緑化活動や自然環境保全活動に参加したことがあるか（問 16 MA）

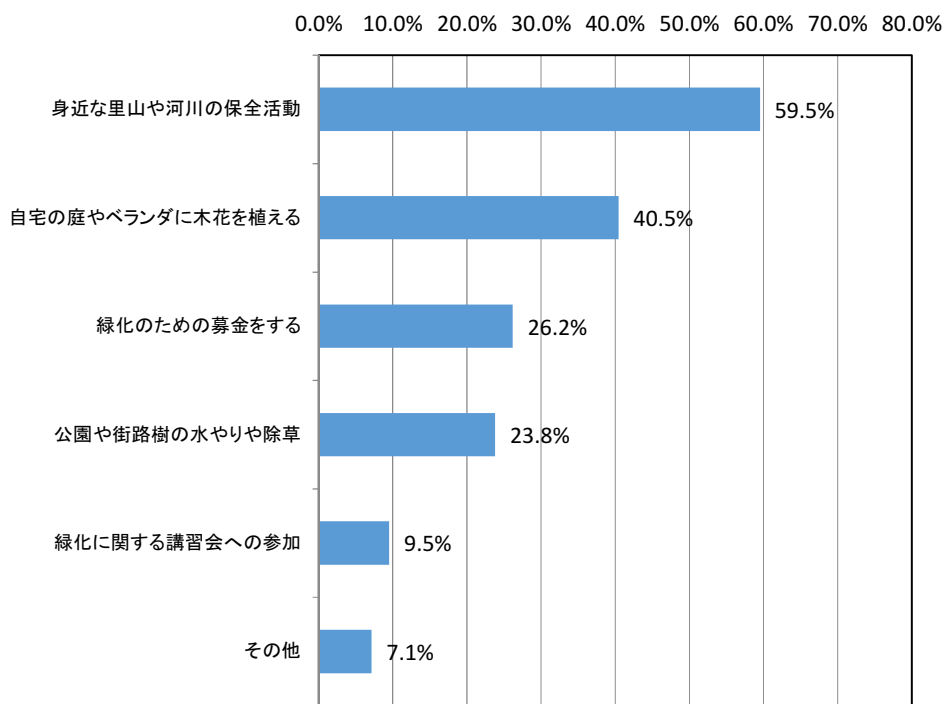
○全世代調査

- 「自宅の庭やベランダに木花を植える」の回答が68.2%と最も多く、次いで「公園や街路樹の水やりや除草」が33.6%、「身近な里山や河川の保全活動」が28.0%となっています。



○若者・子育て世代調査

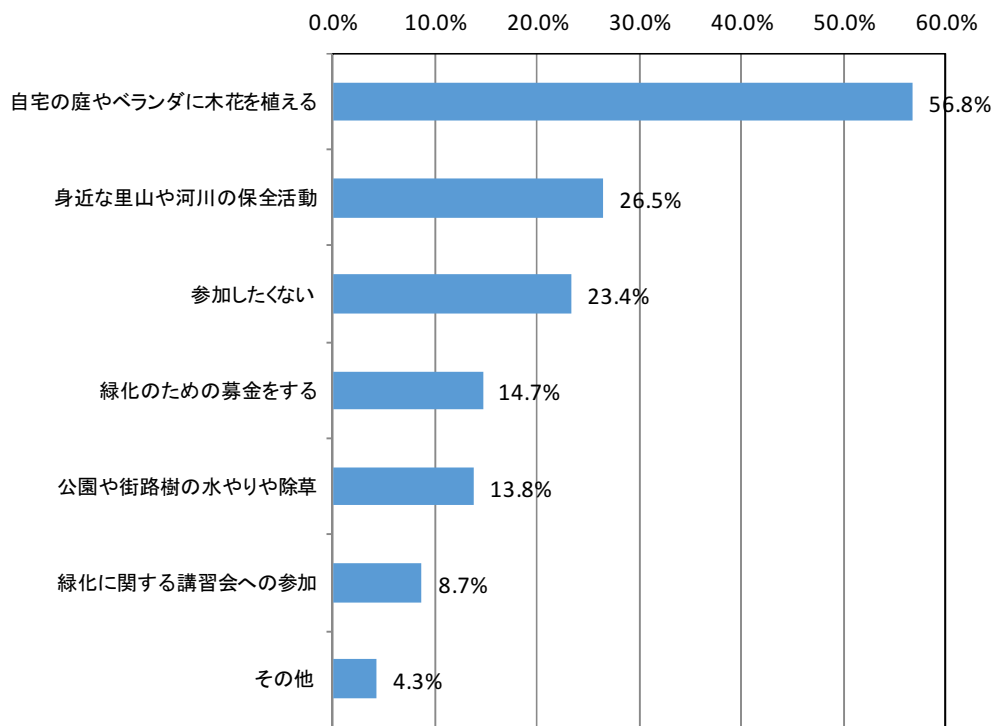
- 「身近な里山や河川の保全活動」の回答が59.5%と最も多く、次いで「自宅の庭やベランダに木花を植える」が40.5%、「緑化のための募金をする」が26.2%となっています。



これから参加したい緑化活動や自然環境保全活動（問 17 MA）

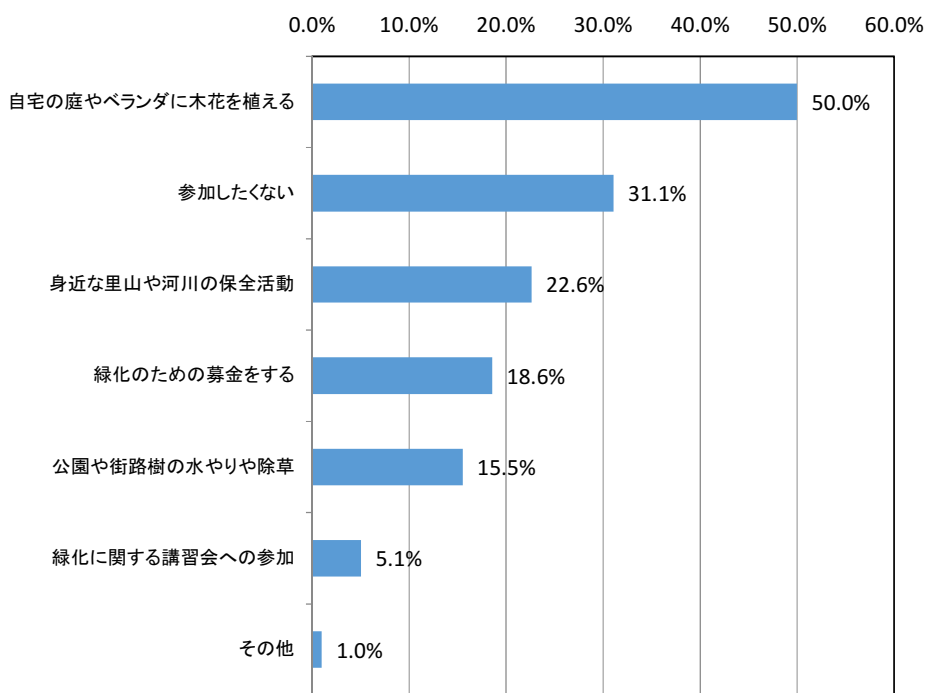
○全世代調査

- 「自宅の庭やベランダに木花を植える」の回答が56.8%と最も多く、次いで「身近な里山や河川の保全活動」が26.5%ですが、「参加したくない」も23.4%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「自宅の庭やベランダに木花を植える」の回答が50.0%と最も多く、次いで「参加したくない」が31.1%、「身近な里山や河川の保全活動」が22.6%となっています。



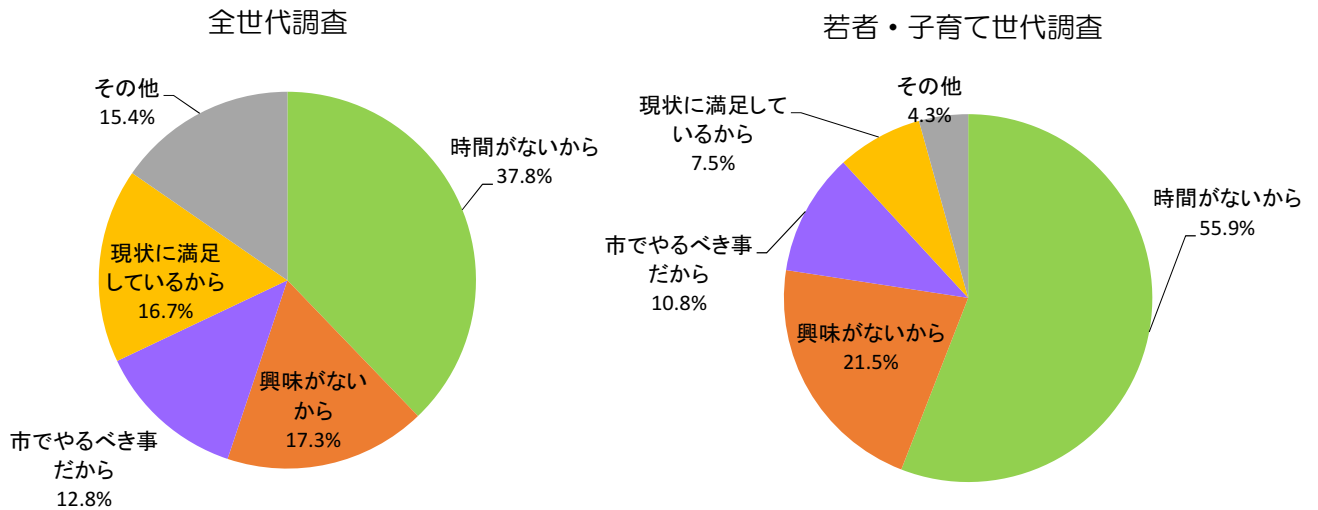
参加したくない理由（問 18 SA）

○全世代調査

- 「時間がないから」が37.8%と最も多く、次いで「興味がないから」の17.3%、「現状に満足しているから」の16.7%となっています。

○若者・子育て世代調査

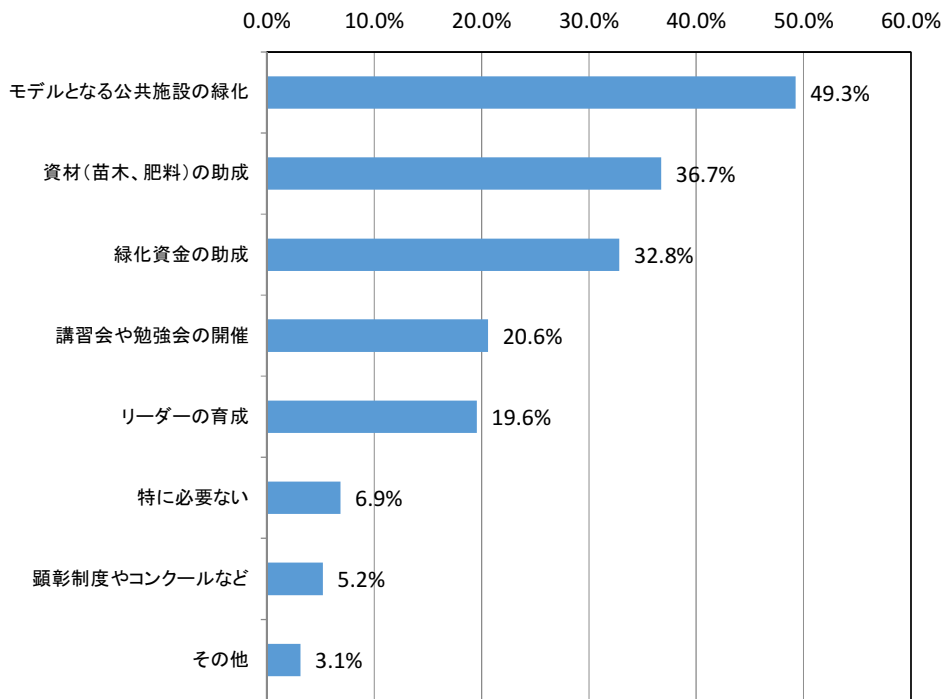
- 「時間がないから」が55.9%と半数以上を占め、次いで「興味がないから」の21.5%、「市でやるべきことだから」の10.8%となっています。



緑化の推進や自然環境の保全のために、市としてどのような支援を行うべきか（問 19 MA）

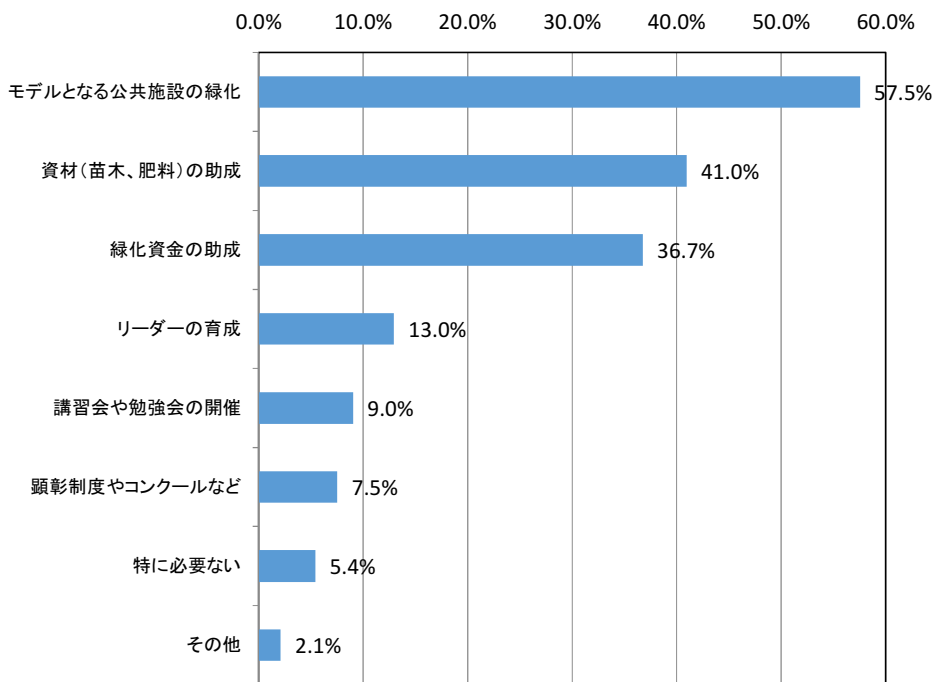
○全世代調査

- 「モデルとなる公共施設の緑化」の回答が49.3%と最も多く、次いで「資材（苗木、肥料）の助成」が36.7%、「緑化資金の助成」が32.8%となっています。



○若者・子育て世代調査

- 「モデルとなる公共施設の緑化」の回答が57.5%と最も多く、次いで「資材（苗木、肥料）の助成」が41.0%、「緑化資金の助成」が36.7%となっています。



7) あなたご自身のことについて

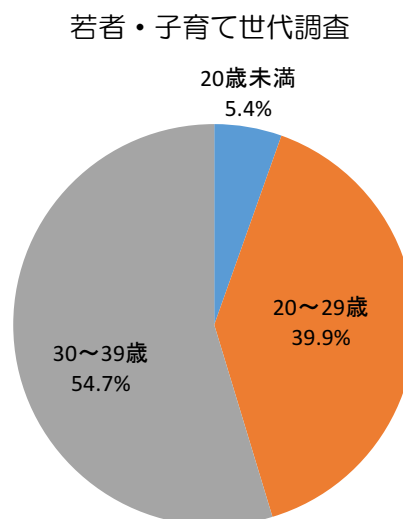
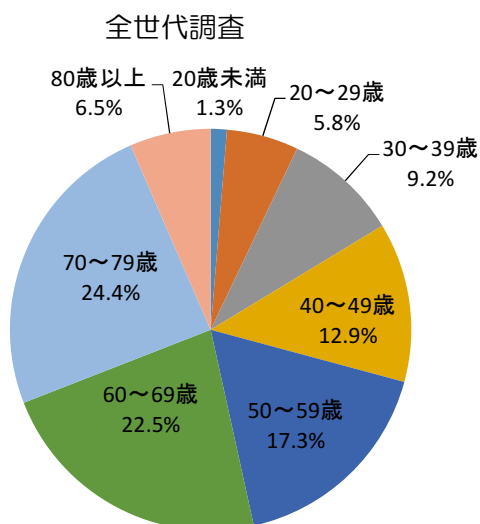
年齢（問 20 SA）

○全世代調査

- 「70歳代」が24.4%と最も多く、次いで「60歳代」が22.5%、「50歳代」が17.3%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「30歳代」が54.7%、「20歳代」が39.9%、「20歳未満」が5.4%となっています。



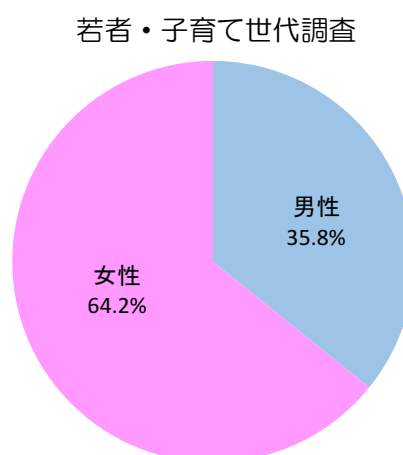
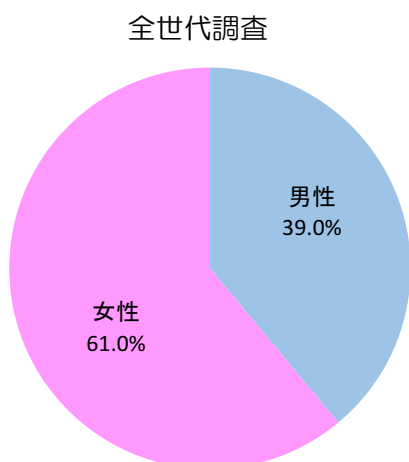
性別（問 21 SA）

○全世代調査

- 「女性」の回答者が61.0%、「男性」の回答者が39.0%となっています。

○若者・子育て世代調査

- 「女性」の回答者が64.2%、「男性」の回答者が35.8%となっています。



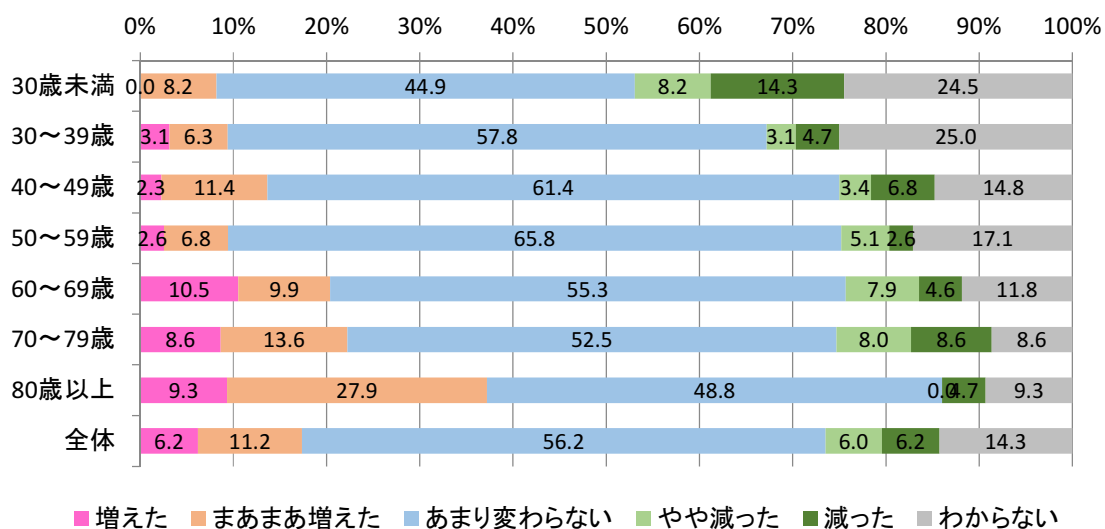
(2) クロス集計

- 地域や世代別の傾向等を見るためにクロス集計を行いました。
- クロス集計は、全体としての傾向を見るため、全世代調査の結果を用いています。
- 世代別集計は、10代のサンプル数が少ないため、20代の集計と合算しています
- 無回答があるため、地域別、世代別の合計と市全体の合計とは合わない場合があります。

1) 世代別の傾向

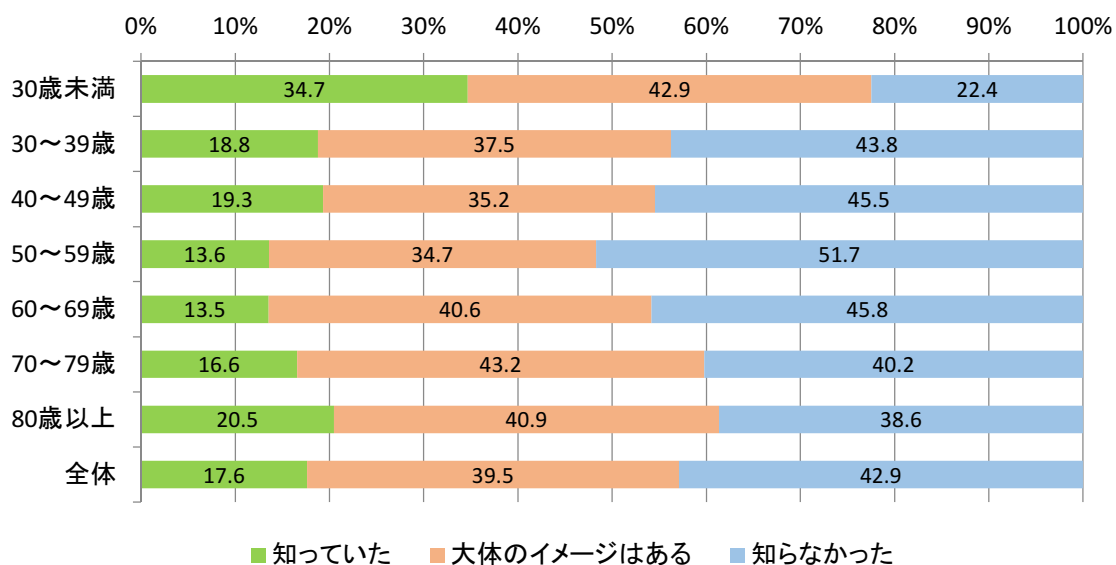
① 緑の増減（問1）に関する世代別の傾向

- 年齢層が高いほど「増えた」「まあまあ増えた」と回答した人の割合が高い傾向が見られます。



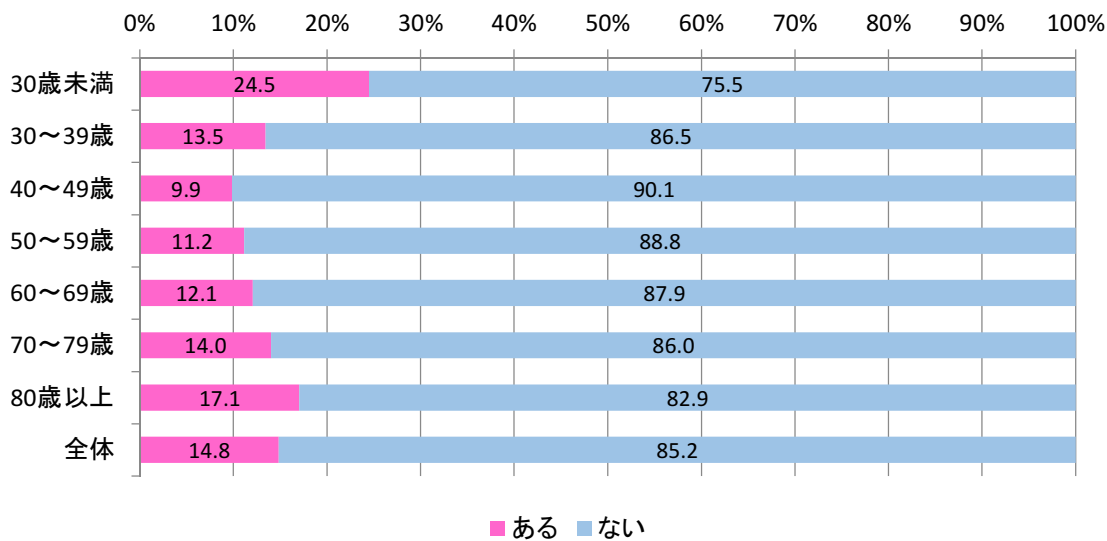
② 生物多様性の認知度（問12）に関する世代別の傾向

- 30歳未満では、「知っていた」「大体のイメージはある」と回答した人の割合が高い傾向にありますが、その他の世代は特に大きな違いは見られません。



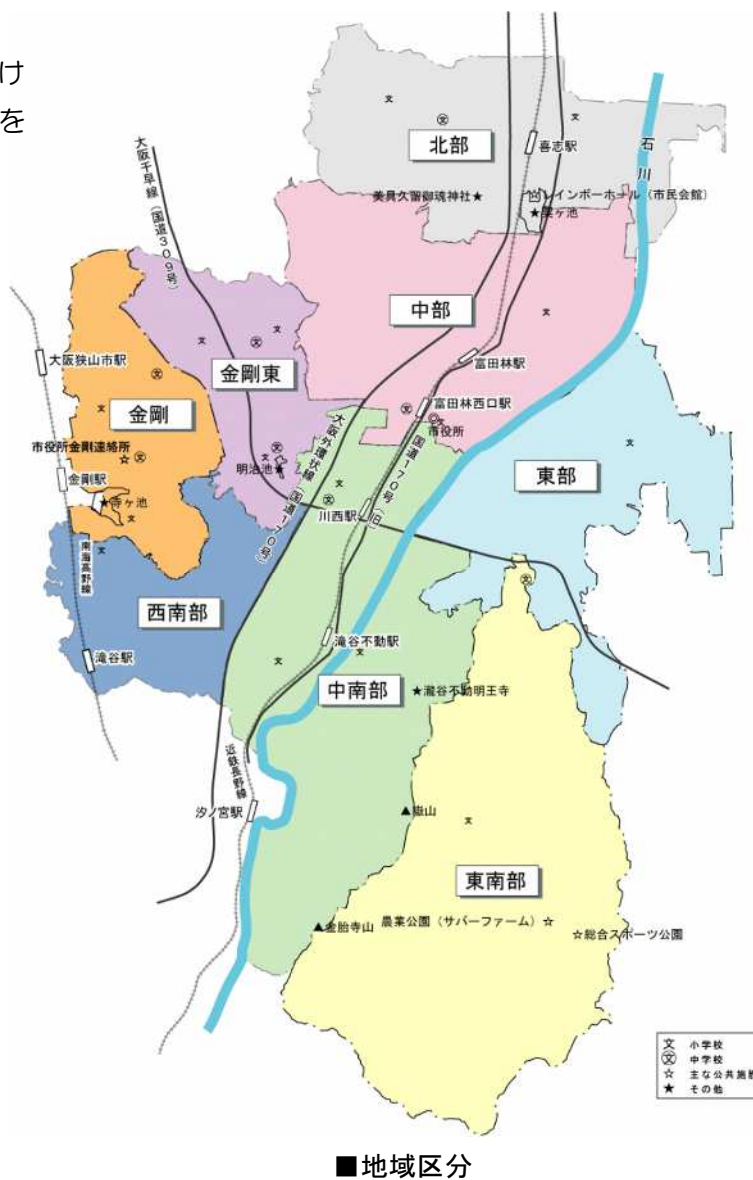
③緑化活動等への参加経験（問15）に関する世代別の傾向

- 緑化活動等への参加経験割合は、「30歳未満」や「70代以上」でやや高くなっており、「40代、50代」では低い傾向が見られます。



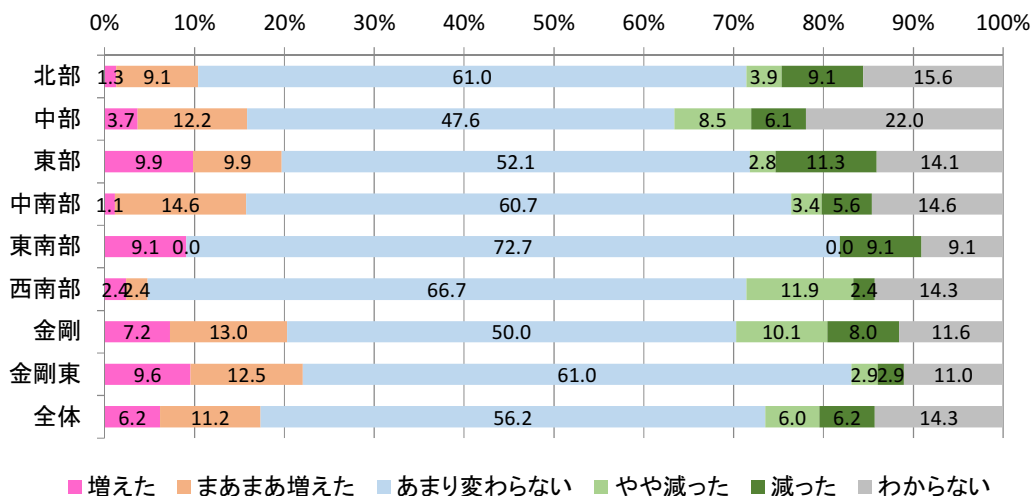
2) 地域別の傾向

都市計画マスタープランにおける地域区分（8地域）ごとの傾向を整理しました。



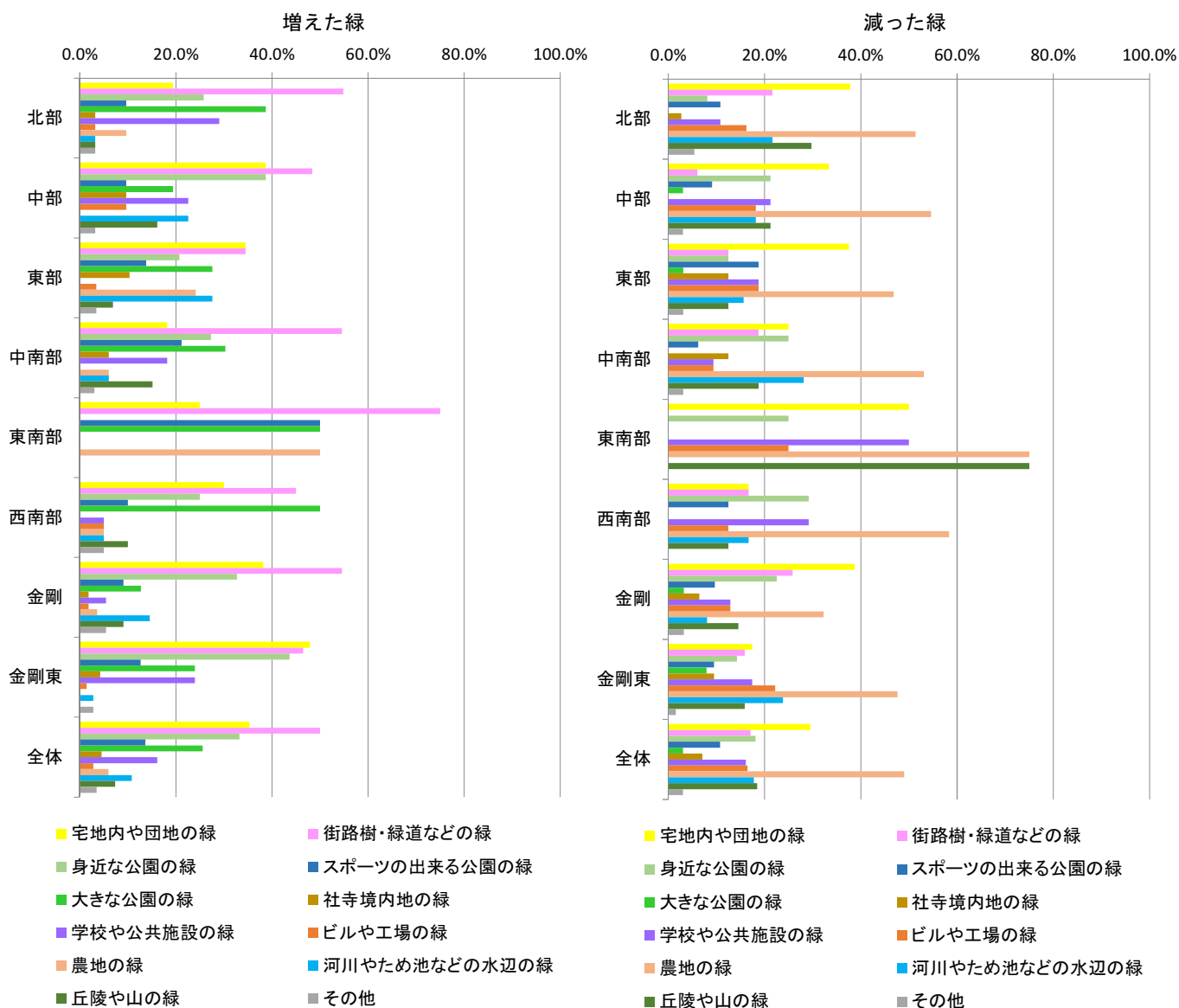
①緑の増減（問1）に関する地域別の傾向

- 「増えた」「まあまあ増えた」の割合が高いのは金剛や金剛東で、「減った」「やや減った」の割合が高いのは金剛や中部です。



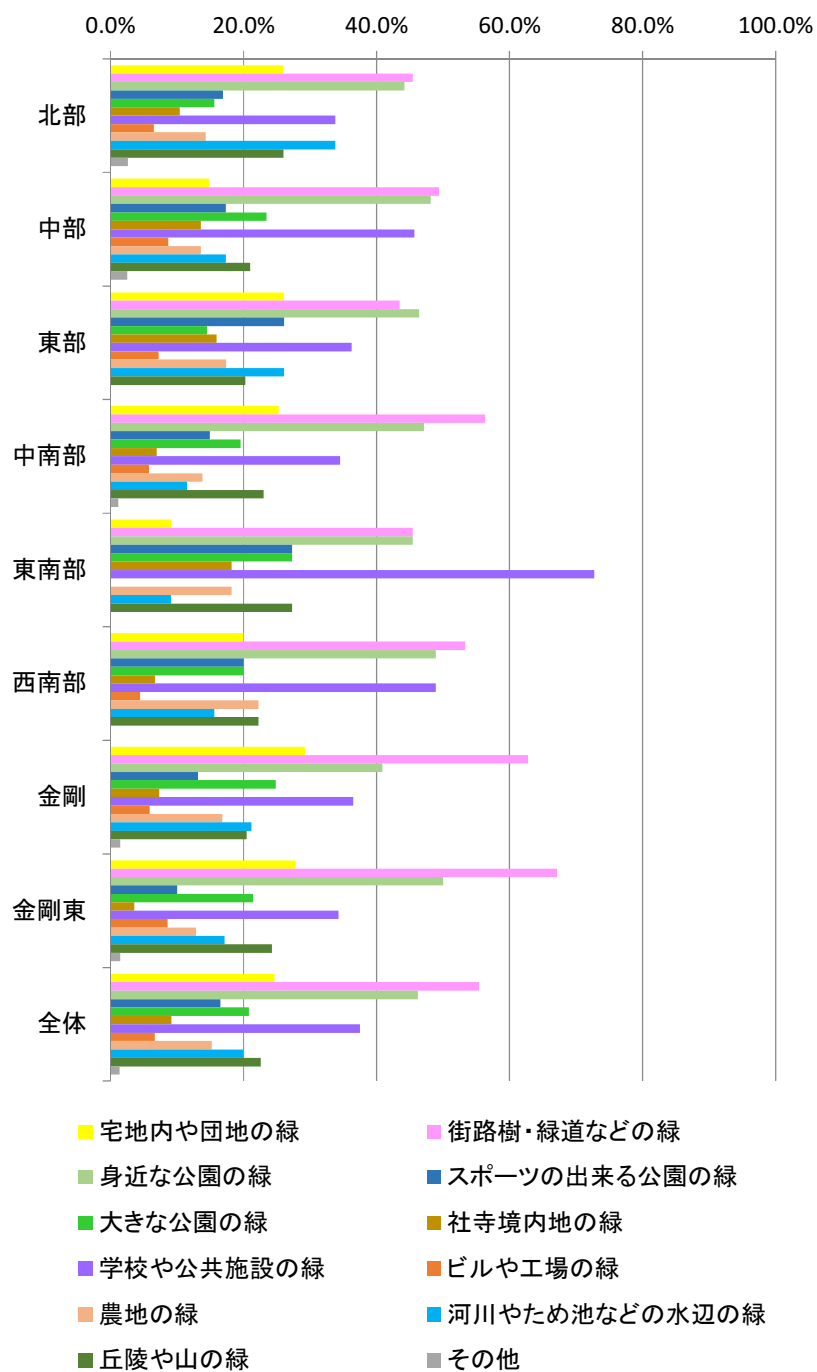
②増えた緑、減った緑（問2）に関する地域別の傾向

- 東南部では「街路樹・緑道などの緑」が増えたと回答した人の割合と、「農地の緑」「丘陵や山の緑」が減ったと回答した人の割合が高くなっています。



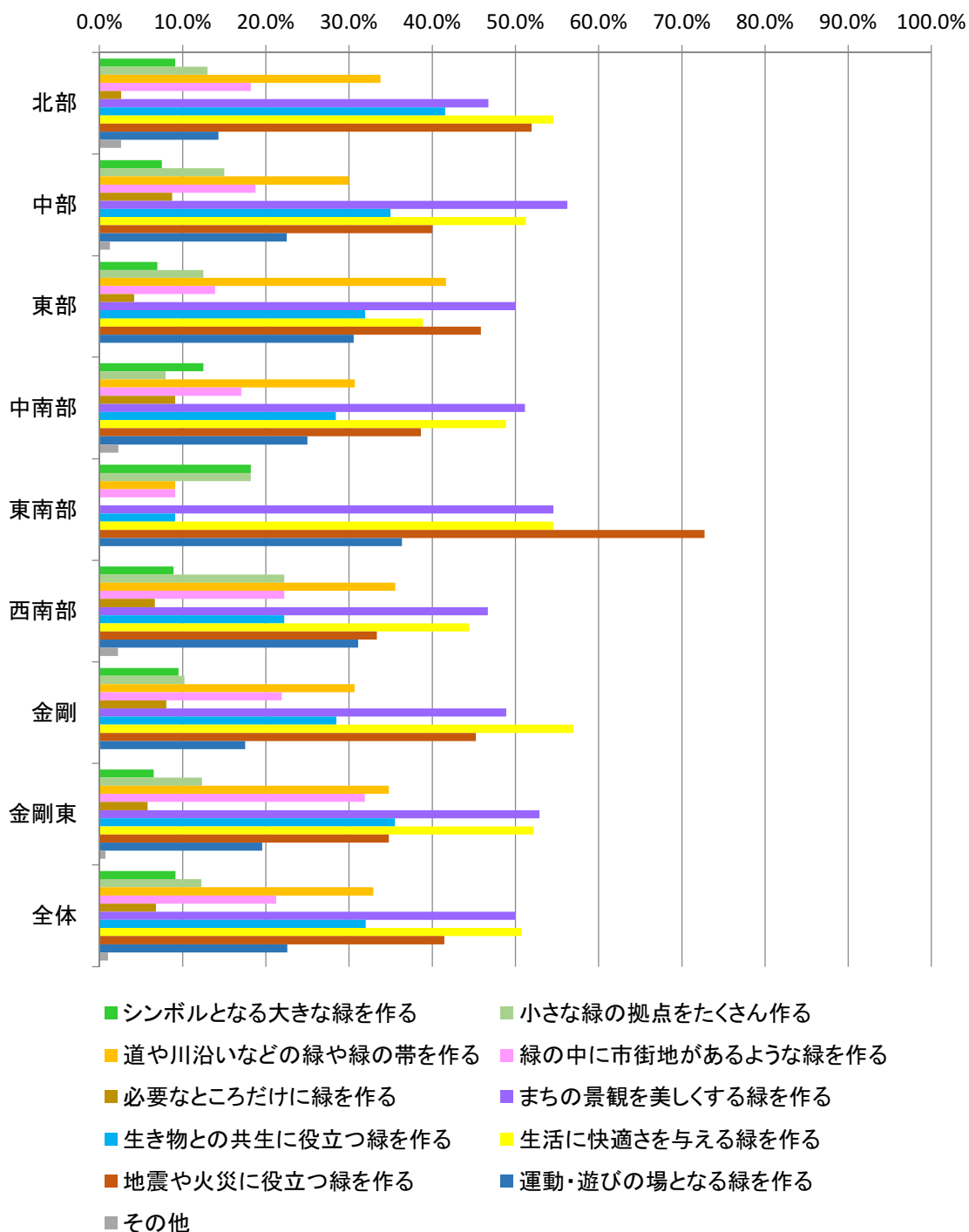
③守り育てていくべき緑（問3）に関する地域別の傾向

- 東南部では「学校や公共施設の緑」、金剛東では「街路樹・緑道などの緑」と回答した人の割合が高くなっています。



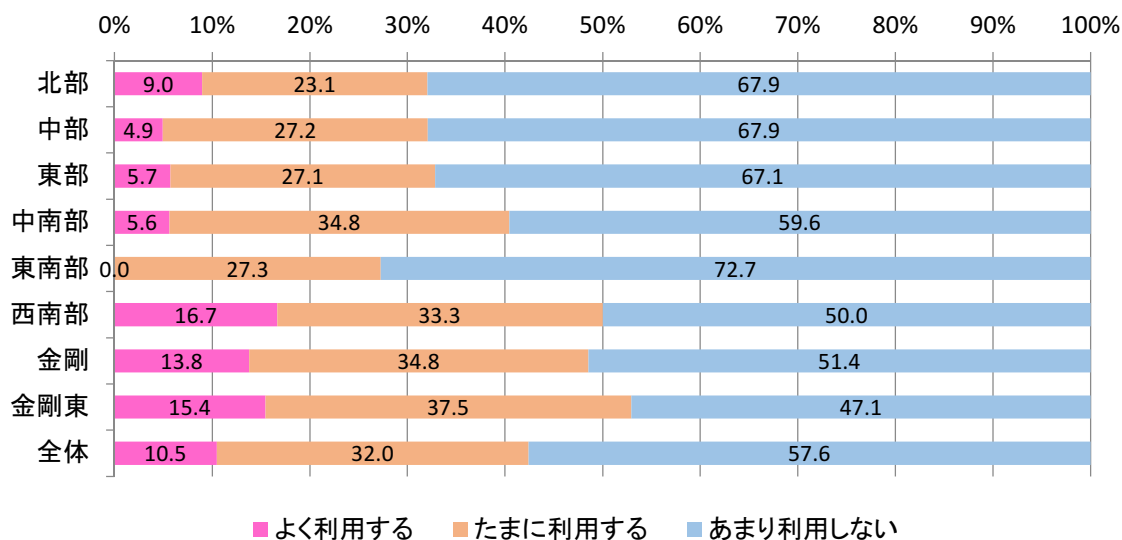
④緑づくりの目標（問4）に関する地域別の傾向

- 中部では「まちの景観を美しくする緑を作る」、東南部では、「地震や火災に役立つ緑を作る」と回答した人の割合が高くなっています。



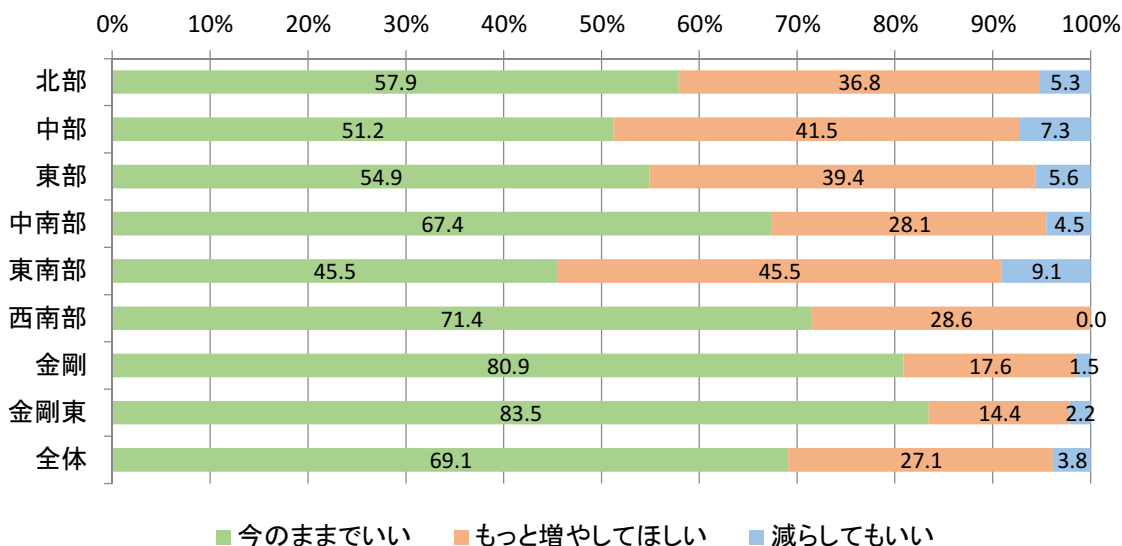
⑤公園の利用頻度（問5）に関する地域別の傾向

- 「よく利用する」「たまに利用する」と回答した割合は、西南部、金剛、金剛東で高く、北部、中部、東南部では低くなっています。



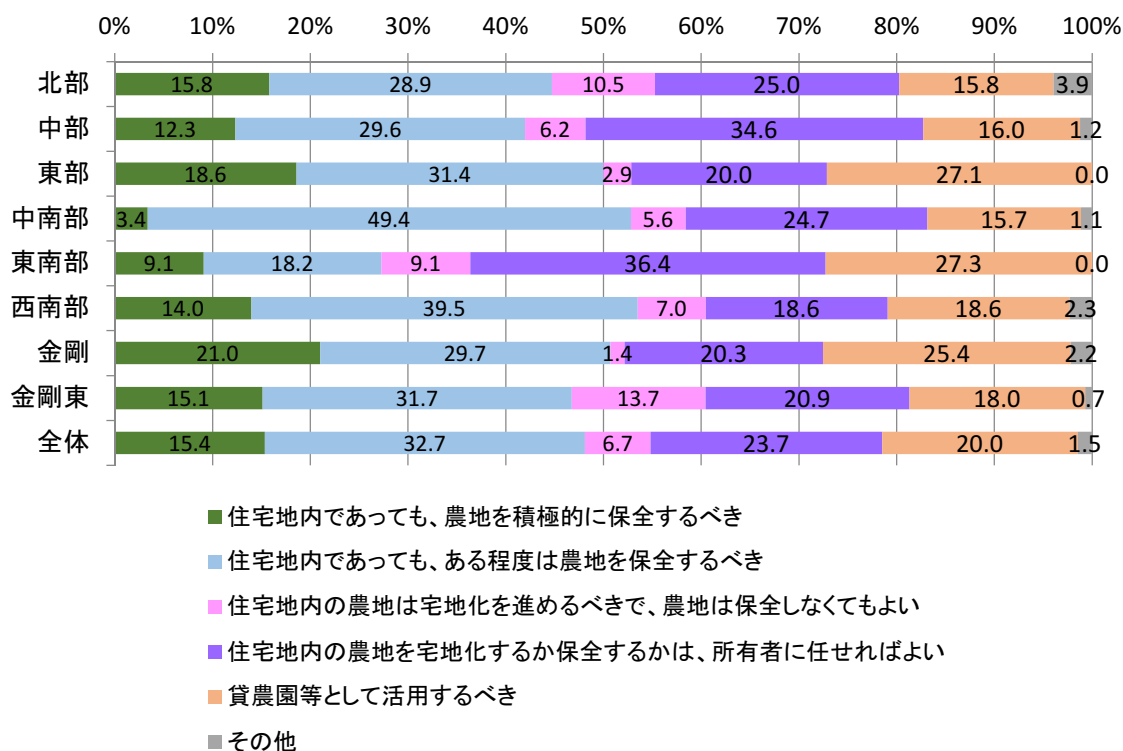
⑥公園の数（問8）に関する地域別の傾向

- 「もっと増やしてほしい」と回答した割合は、中部、東部、東南部で高く、金剛や金剛東では低くなっています。



⑦住宅地の農地の保全と開発（問 11）に関する地域別の傾向

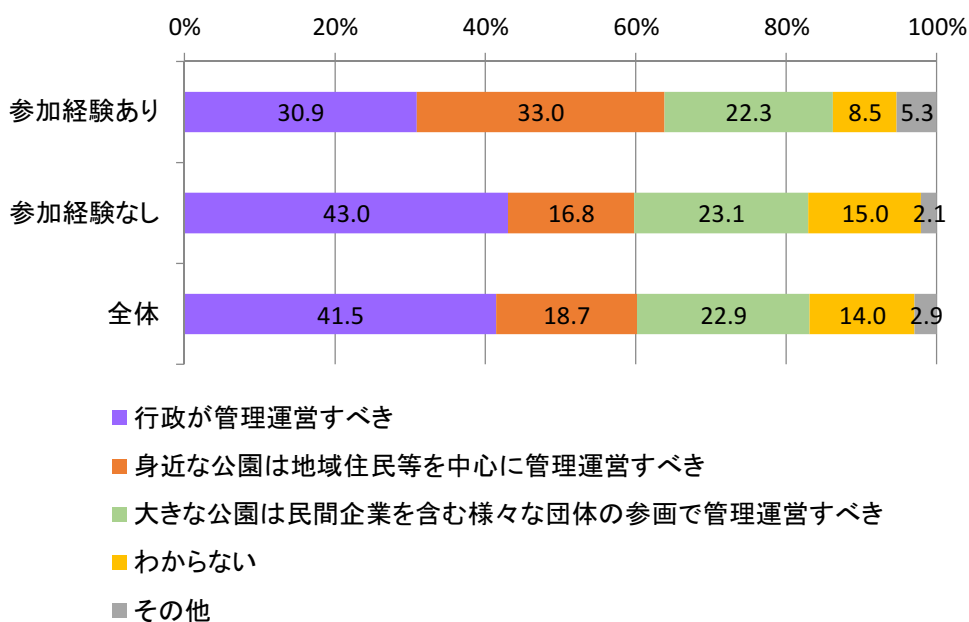
- 「農地を積極的に保全すべき」と回答した割合は東部や金剛で高く、「ある程度は農地を保全すべき」を含めると、中南部や西南部において農地保全に対する意向が強い傾向が見られます。



3) その他

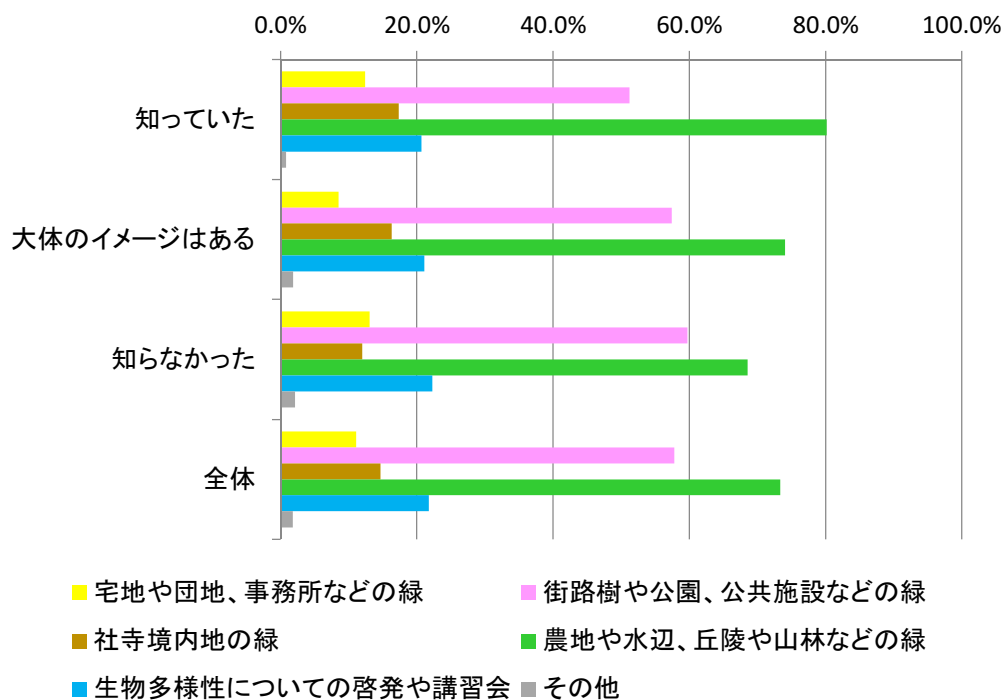
①緑化活動等への参加経験（問 15）と公園の維持管理に対する意識（問 10）の関係

- 緑化活動や自然環境保全活動に参加した経験のある人は、公園の維持管理や運営に地域住民や民間企業が関わるべきであるとの意識が高く見られます。
- 特に、市全体や参加経験のない人に比べて、「身近な公園は地域住民等を中心に管理運営すべき」の回答割合が高い傾向が見られます。



②生物多様性への認知度（問 12）と生物多様性を守るために重要なことに対する意識（問 14）の関係

- 生物多様性を「知っていた」「大体のイメージはある」人は、「知らなかった」人よりも、生物多様性を守るために「農地や水辺、丘陵や山林などの緑」を守ることが重要と回答した割合が高い傾向が見られます。



「富田林市緑の基本計画」策定のための 市民アンケート調査（ご協力のお願い）

市民の皆さまには、日頃から富田林市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成 19 年に「富田林緑の基本計画」を策定し、緑に関するまちづくりを進めてきました。策定から 10 年が経過する中で、市内の緑の状況や社会情勢などが変化しつつあることから、これまでの市の取組を踏まえながら本計画の改定に取り組むこととしました。

この「緑の基本計画」は、「公園・緑地の整備」や「まちの緑化の推進」など、緑に関する施策を明らかにし、豊かな自然と共生するまちをめざすものです。

「富田林市緑の基本計画」の改定にあたっては、皆さまのご意見をお伺いし、計画策定に活かしていきたいと考えております。

つきましては、お忙しい中、誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 7 月

富田林市長 多田 利喜

○回答者の皆さまへ

◆本アンケートは、市民の方を対象に次の方法で実施するものです。

- ・富田林市にお住まいの 18 歳以上の男女から 2,000 人を無作為に抽出する「全世代調査」
- ・18 歳以上 39 歳以下の男女から 1,000 人を無作為に抽出する「若者・子育て世代調査」

◆ご回答は、この調査票を送付させていただいた「あて名」のご本人がお答え下さい。

◆記入は黒の鉛筆・ボールペンをご使用ください。

◆お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理いたします。

○ご記入に際して

平成 30 年 7 月 20 日（金）までにご回答下さい。

◇アンケート用紙にご記入後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函していただきますよう、お願いいたします。

※アンケートについて、ご不明な点やご質問がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

富田林市 産業環境部 みどり環境課 みどり公園係
〒584-8511 富田林市常盤町 1 番 1 号
TEL 0721-25-1000(内線 431) FAX 0721-20-2072
E-mail: midorikankyo@city.tondabayashi.lg.jp

A 富田林市の緑の現状についておたずねします。

問 1. 最近（ここ 10 年程度）、緑は増えたと思いますか。（あてはまる番号を1つ）

回答欄

- | | |
|------------|-----------|
| ① 増えた | ② まあまあ増えた |
| ③ あまり変わらない | ④ やや減った |
| ⑤ 減った | ⑥ わからない |

問 2. 増えたと思う緑、減ったと思う緑をお答えください。（主な番号を3つ以内）

ア. 増えたと思う緑 ⇒ 回答欄

--	--	--

イ. 減ったと思う緑 ⇒ 回答欄

--	--	--

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------|
| ① 宅地内や団地の緑 | ② 街路樹・緑道などの緑 | ③ 身近な公園の緑 |
| ④ スポーツの出来る公園の緑 | ⑤ 大きな公園の緑 | ⑥ 社寺境内地の緑 |
| ⑦ 学校や公共施設の緑 | ⑧ ビルや工場の緑 | ⑨ 農地の緑 |
| ⑩ 河川やため池などの水辺の緑 | ⑪ 丘陵や山の緑 | |
| ⑫ その他（具体的に | |) |

B 富田林市の緑の今後についておたずねします。

問 3. 今後、守り育てていくべきと思う緑は何ですか。（主な番号を3つ以内）

回答欄

- | | |
|-------------|-----------------|
| ① 宅地内や団地の緑 | ② 街路樹・緑道などの緑 |
| ③ 身近な公園の緑 | ④ スポーツの出来る公園の緑 |
| ⑤ 大きな公園の緑 | ⑥ 社寺境内地の緑 |
| ⑦ 学校や公共施設の緑 | ⑧ ビルや工場の緑 |
| ⑨ 農地の緑 | ⑩ 河川やため池などの水辺の緑 |
| ⑪ 丘陵や山の緑 | |
| ⑫ その他（具体的に |) |

問 4. 今後の緑づくりの目標としてふさわしいと思うことは何ですか。（主な番号を3つ以内）

回答欄

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① シンボルとなる大きな緑を作る | ② 小さな緑の拠点をたくさん作る |
| ③ 道や川沿いなどの緑や緑の帯を作る | ④ 緑の中に市街地があるような緑を作る |
| ⑤ 必要などころだけに緑を作る | ⑥ まちの景観を美しくする緑を作る |
| ⑦ 生き物との共生に役立つ緑を作る | ⑧ 生活に快適さを与える緑を作る |
| ⑨ 地震や火災に役立つ緑を作る | ⑩ 運動・遊びの場となる緑を作る |
| ⑪ その他（具体的に |) |

C 富田林市の公園についておたずねします。

問 5. 市内の公園はよく利用しますか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① よく利用する →問 7へ
- ② たまに利用する →問 7へ
- ③ あまり利用しない →問 6へ

問 6. 問 5 の③を選択された方は、利用しない理由を教えてください。(主な番号を2つ以内)

回答欄

- ① 利用する機会、時間がない
- ② 近くに公園がない
- ③ 他の施設を利用する
- ④ 公園でしたいことがない
- ⑤ 危険だから
- ⑥ 理由はない
- ⑦ その他 (具体的に)

問 7. 問 5 の①又は②を選択された方は、どんなときに利用しますか。(主な番号を2つ以内)

回答欄

- ① 友達、仲間との交流
- ② 地域の集まり、イベント
- ③ 散歩や休息
- ④ 子や孫と遊ぶ
- ⑤ 運動、スポーツ
- ⑥ 自然観察や自然と親しむ場
- ⑦ その他 (具体的に)

問 8. 市内の公園の数はどう思いますか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① 今のままでいい
- ② もっと増やしてほしい
- ③ 減らしてもいい →問 9へ

問 9. 問 8 で③を選択された方は、減らしてもいいと思う理由を教えてください。(主な番号を2つ以内)

回答欄

- ① 利用者が減ったから
- ② 落ち葉が多い、害虫が発生するなど
- ③ 数が多すぎるから
- ④ 防犯上の問題 (たまり場になる等)
- ⑤ 維持管理にお金がかかるから
- ⑥ その他 (具体的に)

問 10. 公園の維持管理や運営をどのようにしていけばいいと思いますか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① 行政が管理運営すべき
- ② 身近な公園は地域住民等を中心に管理運営すべき
- ③ 大きな公園は民間企業を含む様々な団体の参画で管理運営すべき
- ④ わからない
- ⑤ その他 (具体的に)

D 富田林市の住宅地の農地についておたずねします。

問 11. 住宅地内の農地の保全と開発について、どのようにお考えですか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① 住宅地内であっても、農地を積極的に保全すべき
- ② 住宅地内であっても、ある程度は農地を保全すべき
- ③ 住宅地内の農地は宅地化を進めるべきで、農地は保全しなくてもよい
- ④ 住宅地内の農地を宅地化するか保全するかは、所有者に任せればよい
- ⑤ 貸農園等として活用すべき
- ⑥ その他 (具体的に)

E 生物多様性についておたずねします。

地球上には約 3,000 万種とも言われる多様な生物が存在します。生きものの多様さとともに、その生息環境の多様さをも表す言葉として、「生物多様性」という言葉があります

問 12. 生物多様性の言葉とその意味を知っていましたか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① 知っていた ② 大体のイメージはある ③ 知らなかった

問 13. 生物多様性は、緑のまちづくりにとって重要だと思いますか。

(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① とても重要 ② あまり重要でない
③ どちらともいえない ④ わからない

問 14. 富田林市の生物多様性を守るために何が重要だと思いますか。(主な番号を2つ以内)

回答欄

- ① 宅地や団地、事務所などの緑
- ② 街路樹や公園、公共施設などの緑
- ③ 社寺境内地の緑
- ④ 農地や水辺、丘陵や山林などの緑
- ⑤ 生物多様性についての啓発や講習会
- ⑥ その他 (具体的に)

F 緑のまちづくりへの参加と取組についておたずねします。

問 15. 緑化活動や自然環境保全活動に参加したことはありますか。(あてはまる番号を1つ)

回答欄

- ① ある →問 16へ
② ない →問 17へ

問 16. 問 15 の①を選択された方は、どのような緑化活動や自然環境保全活動に参加したことがありますか。(主な番号を2つ以内)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 緑化に関する講習会への参加 ② 公園や街路樹の水やりや除草 ③ 身近な里山や河川の保全活動 ④ 緑化のための募金をする ⑤ 自宅の庭やベランダに木花を植える ⑥ その他 (具体的に _____)
	<input type="checkbox"/>	

問 17. 問 15 の②を選択された方は、これから参加したい緑化活動や自然環境保全活動はありますか。(主な番号を2つ以内)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 緑化に関する講習会への参加 ② 公園や街路樹の水やりや除草 ③ 身近な里山や河川の保全活動 ④ 緑化のための募金をする ⑤ 自宅の庭やベランダに木花を植える ⑥ 参加したくない →問 18 へ ⑦ その他 (具体的に _____)
	<input type="checkbox"/>	

問 18. 問 17 の⑥を選択された方は、参加したくない理由を教えてください。(あてはまる番号を1つ)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 時間がないから ② 興味がないから ③ 市でやるべき事だから ④ 現状に満足しているから ⑤ その他 (具体的に _____)
	<input type="checkbox"/>	

問 19. 緑化の推進や自然環境の保全のために、市としてどのような支援を行うべきだと思いますか。(主な番号を2つ以内)

回答欄	<input type="checkbox"/>	① モデルとなる公共施設の緑化 ② 資材 (苗木、肥料) の助成 ③ 緑化資金の助成 ④ リーダーの育成 ⑤ 顕彰制度やコンクールなど ⑥ 講習会や勉強会の開催 ⑦ 特に必要ない ⑧ その他 (具体的に _____)
	<input type="checkbox"/>	

G あなたご自身のことについておたずねします。

回答欄に選択肢のあてはまる番号を1つ記入してください。

問 20. 年齢

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 20歳未満 ② 20～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳 ⑤ 50～59歳 ⑥ 60～69歳 ⑦ 70～79歳 ⑧ 80歳以上
	<input type="checkbox"/>	

問 21. 性別

回答欄	<input type="checkbox"/>	① 男性 ② 女性
-----	--------------------------	----------------

問 22. お住まいの場所（下表の中からお住まいの住所に○をつけてください。）

記入例	あ	青葉丘	こ	○	小金台1丁目	て	寺池台1丁目
		旭ヶ丘町			小金台2丁目		寺池台2丁目
		栗ヶ池町			小金台3丁目		寺池台3丁目

あ	青葉丘	こ	○	寺池台1丁目	ふ	藤沢台1丁目
	旭ヶ丘町			寺池台2丁目		藤沢台2丁目
	栗ヶ池町			寺池台3丁目		藤沢台3丁目
う	梅の里1丁目	こ		寺池台4丁目	と	藤沢台4丁目
	梅の里2丁目			寺池台5丁目		藤沢台5丁目
	梅の里3丁目			常盤町		藤沢台6丁目
お	梅の里4丁目	こ		富田林町	な	藤沢台7丁目
	大字嬉			中野町1丁目		大字伏見堂
	大字彼方			中野町2丁目		伏山1丁目
か	かがり台	こ		中野町3丁目	な	伏山2丁目
	加太1丁目			大字中野		伏山3丁目
	加太2丁目			中野町西1丁目		不動ヶ丘町
き	加太3丁目	さ		中野町西2丁目	へ	富美ヶ丘町
	川面町1丁目			中野町東1丁目		別井1丁目
	川面町2丁目			中野町東2丁目		別井2丁目
き	川向町	さ		楠風台1丁目	ほ	別井3丁目
	大字甘南備			楠風台2丁目		別井4丁目
	喜志町1丁目			楠風台3丁目		別井5丁目
き	喜志町2丁目	し		西板持町1丁目	み	本町
	喜志町3丁目			西板持町2丁目		緑ヶ丘町
	喜志町4丁目			西板持町3丁目		南旭ヶ丘町
き	喜志町5丁目	し		西板持町4丁目	み	南大伴町1丁目
	大字喜志			西板持町5丁目		南大伴町2丁目
	喜志新家町1丁目			西板持町6丁目		南大伴町3丁目
き	喜志新家町2丁目	す		西板持町7丁目	み	南大伴町4丁目
	北大伴町1丁目			西板持町8丁目		宮町1丁目
	北大伴町2丁目			西板持町9丁目		宮町2丁目
く	北大伴町3丁目	す		大字錦織	や	宮町3丁目
	北大伴町4丁目			錦織北1丁目		宮甲田町
	木戸山町			錦織北2丁目		美山台
こ	楠町	た		錦織北3丁目	わ	山中田町1丁目
	久野喜台1丁目			錦織中1丁目		山中田町2丁目
	久野喜台2丁目			錦織中2丁目		山中田町3丁目
こ	甲田1丁目	つ		錦織東1丁目	よ	山手町
	甲田2丁目			錦織東2丁目		大字横山
	甲田3丁目			錦織東3丁目		大字龍泉
こ	甲田4丁目	つ		錦織南1丁目	り	若松町1丁目
	甲田5丁目			錦織南2丁目		若松町2丁目
	甲田6丁目			錦ヶ丘町		若松町3丁目
こ	向陽台1丁目	つ		東板持町1丁目	わ	若松町4丁目
	向陽台2丁目			東板持町2丁目		若松町5丁目
	向陽台3丁目			東板持町3丁目		若松町東1丁目
こ	向陽台4丁目	つ		平町1丁目	わ	若松町東2丁目
	向陽台5丁目			平町2丁目		若松町東3丁目
						若松町西2丁目
						若松町西3丁目

H その他、緑のまちづくりに関して、ご意見を自由にご記入ください。

A large rectangular box with a solid black border, containing 25 horizontal dotted lines for writing.

●ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れ、7月20日までに、切手を貼らずに投函してください。